

教科に対する態度についての研究

教科に対する態度についての研究

—国語・数学(算数)・保健体育(体育)・技術家庭(家庭)について—

はじめに

教室でも家庭でもまじめに勉強しているのに成績のよくない子がいる反面、教室における学習態度もよくないし、家庭でもあまり勉強していないようなのに成績のよい子がいる。勉強が好きな子、嫌いな子についての研究によると、知能の高低、人間関係(特に親子関係と教師との関連)、性格の三つが主要な条件としてあげられている。これは学習一般についてではあるが、このことはそのまま教科の学習にあてはめて考えることもできる。

また、教科に対する好き嫌いに関する調査によると、小学校男子では理科、体育が、女子では音楽、国語が好かれ、嫌われる教科としては、男子では音楽、社会、国語が、女子では理科、社会、算数があげられている。そして、その理由には、特にあげられるものではなく、「楽しさ」「おもしろさ」といった興味からのものが多く、その教科のもつ目的の理解や価値意識というようなものからはあまりみられない。また、この傾向は低学年ほど明らかである。このように、教科に対する態度は、その教科についての目的意識、価値意識とは異なった傾向を示している。

このような教科に対する興味、好嫌、価値意識といったようなものを形成する条件としては、教科の内容、教師の指導形態、学業成績、家庭のふん囲気といったものが考えられるが、教科に対するこのような態度は、学習意欲、動機づけに大きく関係し、したがって学業成績にも影響してくるものである。学力の形成、向上といっても具体的には教室における教科学習が主要な位置を占めており、また、逆に教科に対する態度が学習全般にわたっての態度を形成するものと考えられる。

このような意図から、ここでは教科について児童生徒がどのような態度をもっているか、そして、それは、それぞれの教科の学業成績、あるいは学習態度とどのような関係があるかをみようとしたものである。

一般に、態度については行動的側面、感情的側面、認知的側面が考えられ、行動的側面はその行動、運動をひきおこし、感情的側面はその強さ、程度を規定し、認知的側面はそれに方向を与えるイメージと関係があるとされている。ここで用いたSD法(Semantic Differential Method)は態度における認知的側面を測定するもので、従来人間の購買行動や政治行動の分析に利用されてきたのであるが、イメージは行動を方向づけるものとして、広く人間一般の分析にも活用できるのではないかと考えた。ここで問題としては、どのようなイメージをもっているかということと、そこに示されたイメージはどのような因子から構成されているかがあげられるが、ここでは「どのようなイメージをもっているか」ということだけに限定した。

SD法(Semantic Differential Method)について

ある人のある場面における行動はその人がその場面をどのように知覚するかということによって大きく規定されるものである。すなわち行動はその状況がその人に対してもっている意味に依存しているといえることができる。これは人間の知覚や判断は対象の性格そのものについての直接的な反映でなく、感

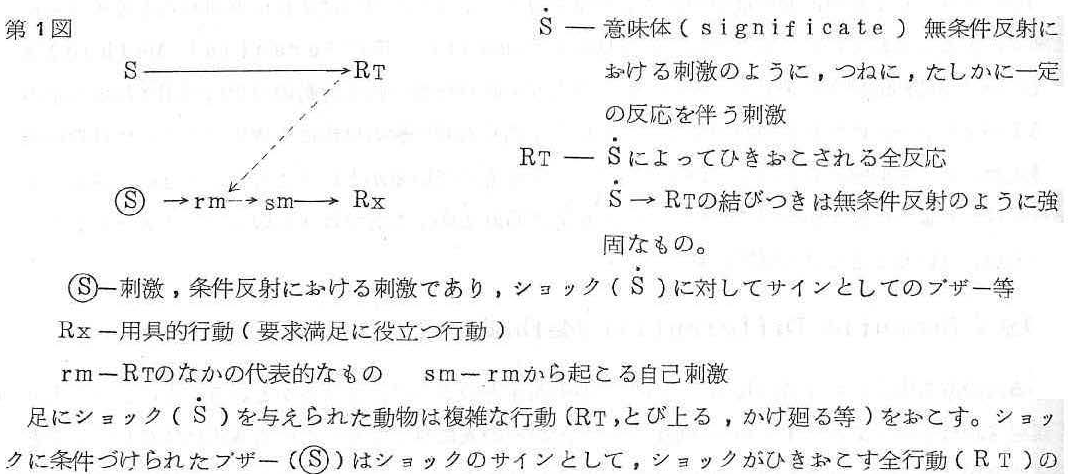
情的反応をも含めて対象の属性を自分のもっている一定の枠に関係づけてなされるという事実に基づいている。この関係づけの枠組 (frame of reference) は、集団にあっては集団規範としてメンバーは同質の枠組をもち、個人にあっては態度や価値と関係している。この枠組は具体的には言語によって表現されるものであり、このことから表現された意味を量的に測定することができれば、逆に集団、個人のもつ枠組を他と比較することによって推知され、さらには集団、個人のもっている態度、価値観を推知できると考えられる。

この研究はイリノイ大学のオスグッドらによってなされたもので共感覚の研究から出発したものであって、たとえば、音楽を聞いたとき「情熱的な音楽だ」とか「暗い感じのする音楽だ」とかいう。さらにある人はそれらの音楽に対して「赤い」とか「青い」と感ずることもある。このように音楽を聞いた感じを何らかの形容詞によって反応することができる。このことは音楽だけに限らず、他のあらゆるものについてもなされるにちがいないということを前提として、次の三つのものが主要な仮説としてあげられている。

- 1 さまざまな概念 (音楽、絵画の印象、物質の名称、現象等も含めて) は形容詞の意味空間 (semantic space) でとらえられる。
- 2 このような形容詞は両極性をもち、一定の形容詞対によって評定することができる。すなわち、速い音楽には遅い音楽が対応し、赤い音楽には青い音楽が対応するように、赤い—青い、速い—遅いという対によってとらえることができる。
- 3 これらの両極をなす形容詞の評定尺度 (semantic scale) は連続 (continuum) である。すなわち、非常に速い音楽から非常に遅い音楽まで、あらゆる速さの音楽がどこかに位置づけられるにちがいない。

これは方法としては、従来の連想法と尺度法を結びつけたものであり、具体的にはいくつかの形容詞対 (あつい—つめたい、高い—低い等) からなる尺度上に、あたえられた概念からうけるイメージをプロットすることによる。

ここで、ある状況がある人に対して「意味」とは「代表機能をはたす媒介過程 (representational mediation process) 」としてとらえられ、次のように説明される。



うち一部分の反応 (rm→RT のうちもっとも大きなもの) をひきおこし、それが自己刺激 (sm) として、意味体 (ショック) を勘定に入れたさまざまな用具の行動 (Rx) をひきおこす。このようにサインとしての (S) が生ぜしめる過程 (rm→sm) は意味体 (S) 自身によってひきおこされた全行動 (RT) の一部分であるが故に、代表機能をはたしている (representational である) のであり、rm→sm はこのような短絡反応をすることによってひきおこされた内部刺激 sm が Rx と結びつくことにおいて媒介過程 (mediational process) なのである。この Rx は rm→sm によって選択的にひきおこされるものであり、このようにひきおこされた Rx は個人個人の異なった生活経験にもとづくもので、当然個人個人によって異なるものであり、Rx はサインの意味にふさわしい反応 (態度、価値観、行動等) であると考えられる。

このような反応をとらえるために「意味空間 (semantic space)」という原理的模型を設定する。一対の形容詞尺度はその空間の原点を通る一次関数をあらわすものとして、これらの意味尺度は多次元空間を構成するものとする。だから意味尺度の数が多ければ意味空間はそれだけ正確に定義されるわけであるが、本質的には同一方向の尺度も多いため、その次元を完全に包括する最少の次元を求めなければならない。オスグッドはさまざまな概念について、76 の形容詞対を用いて次の事実を明らかにした。

1 意味空間は多次元空間である。

2 これらの因子、または次元は同程度に媒介判断の過程で重要なものではない。

3 重要な因子は次のものである。

Evaluation (E, 評価性) 良い—悪い, 完全な—不完全な, あかるい—くらい
高い—低い等

Potency (P, 潜在力) かたい—やわらかい, 強い—弱い, 男性的—女性的
重い—軽い等

Activity (A, 活動性) あつ—つめたい, はや—遅い, 複雑な—単純な等
また重要さの順序は E, P, A の順である。

4 意味空間は操作的なものであるから、概念の種類によって修正されることがある。

また、このほかに Stability (安定性, 安定した—変わりやすい等), Tautness (厳格性, 角ばった—丸い等), Novelty (新鮮さ, 新しい—古い等), Receptivity (感受性, 興味のあ—退屈な等) Aggressiveness (攻撃性, 攻撃的—防ぎよ的), その他 (近い—遠い, 主観的—客観的等) が見出されているが、E が全体の 38%, P 16.5%, A 11.2% でこの三つが大部分を含み、他は非常に少なくなっている。

わが国でも意味尺度研究会によって日本語の意味構造の研究が行なわれてきた。120 の概念を 50 の形容詞対によって 96 名の大学生を対象に行なった結果、大体オスグッドの場合と同じような結果がみられたが、E, P, A のほかに複合因子として EP (強い—弱い, 高い—低い等) PA (重い—かるい, はげしい—おだやかな等), EA (若い—年とった, にぎやかな—さびしい等), EPA (すばや—のろい等) がみいだされた。

しかし、これには複合因子が多く、相良、木村らの分析によると次の 4 因子が抽出された。

General Evaluation

- (1) Moral Correctness (論理的評価) すぐれた—劣った, 完全な—不完全な, 正確な—不正確な等
- (2) Sensory Pleasure (感性的評価) やわらかい—かたい, 熱い—冷たい, 丸い—四角な等

General Dynamism

- (1) Dynamism (力動性) 積極的—消極的, するどい—にぶい, はやい—おそい等
- (2) Magnitude (巨大性) 深い—浅い, 長い—短い, 大きな—小さな, 広い—せまい等
- これを前の因子と比較すると, Evaluation が理論的, 論理的整合性としてのMoral Correctnessと情緒的, 感情的, 印象的親近性としてのSensory Pleasureに分かれ, ActivityとPotencyが併存してDynamismとなり, 長い—短い, 大きい—小さいといった空間的, 静的の大小関係に関するものとしてMagnitudeが分析されている。動的力関係をActivity, 静的力関係をPotency, これらの合わされたものをDynamismと考えるならば「力」に関する次元を取り除いた大小関係のみを含むものとしてMagnitudeが考えられる。この調査はこの4つの因子にもとづいて考察を進める。

SD法の概略は以上のようなものであるが, SD法の結果として示されるイメージは, 「特定の時点において, 特定の個人により, 特定の概念に対し, 特定の主要な共通次元についてわりあてられた判断の総和である」ということができる。このことから方法的制約として次のことがあげられる。

- (1) SD法により測定されたイメージの恒常性は保証されない。
- (2) イメージ構成要素のすべてが包括されている保証はない。
- (3) 部分の総和が全体であるという性質から, 構成要素間の相互作用, 変化の様相は考慮されず, 静的なとらえ方である。

このようなことから, SD調査の結果をその形成要因と関係づけて考えるには, 面接によるイメージ形成過程の追求, 継続調査による時系列的資料の収集, 無意識, 潜在意識への接近として投影法などが併用されなければならない。

調査の概要

予備調査・調査に使用するSD調査票作成のため予備調査を実施した。オスグッド, 意味尺度研究会で分析された形容詞対を参考にして次の25対を選んで予備調査を行なった。

悲しい—幸せな	大きな—小さな	美しい—美しくない	近い—遠い
完全な—不完全な	便利な—不便な	広い—せまい	静かな—うるさい
弱い—強い	新しい—古い	やさしい—むずかしい	男らしい—女らしい
はっきりしていない—はっきりしている		愉快な—不愉快な	積極的—消極的
好きな—嫌いな	楽しい—苦しい	単純な—複雑な	深い—浅い
四角な—丸い	やわらかい—かたい	調和した—不調和な	正確な—不正確な
あかるい—くらい	するどい—にぶい		

また, スケールは従来の研究では7段階を用いているが, 被調査者の年齢を考慮し, 「学校に対する態度の分析」(菊地)を参照して5段階とした。また, 発達の傾向をみるのが目的ではないが, 小学5年, 中学2年に実施した。尺度の提示順序, 形容詞の左右の位置についてはランダムとした。この

予備調査の結果として次のような変更，手続きを行なった。

1. 小学5年生では調査意図を読みとれないものが多かったため，6年に実施することにした。
2. 25の形容詞対からことばの不適切なもの，尺度としてあまり意味がないと思われるものとして悲しい—幸せな，近い—遠い，積極的—消極的，調和した—不調和な，するどい—にぶい，の5対を除き，残りの20対をもって，第2表のような調査票を作成した。

この調査票をもとに次のような概要で実施した。

日時 昭和39年12月

第1表 調査対象児童・生徒

調査対象児童・生徒

	男	女	計
中学2年	63	71	134
小学6年	66	70	136

調査対象教科 情緒的，知的教科として国語，知的，論理的教科として数学（算数），身体運動を含むものとして保健体育（体育），技術，技能を含むものとして技術家庭（家庭）の4教科について実施した。

調査の種類 昭和39年度1学期末学業成績

田研式 学習法診断検査

Semantic Differential Method

集計

- SD調査 ① 学年別，男女別，教科別による平均値と標準偏差
② 男女間，教科間のDscoreおよび順位差相関係数
③ プロフィールの作成

第2表

学年 組 番 なまえ

あなたは，毎日，学校や家庭で，いろいろな科目の勉強をやっているわけですが，それぞれの科目について，どんな感じをもっていますか。その感じを書いてください。

感じを書いてもらうわけですから，正しい答とか，まちがった答というものはありません。また，よい答とか，悪い答というものもありません。

記入のしかたは，下の例のように，自分で感じたところに，○印をつければよいのです。

例 しろい | たいへん | すこし | どちらでもない | すこし | たいへん | 黒い

では，「国語」あるいは「国語の勉強」ということばから，どんな感じをうけますか。

	たい へん	す こ し	ど も ち な ら い で	す こ し	たい へん		註	1	2	3
1 小さな	-----	-----	-----	-----	大きい		P	P	Mg	
2 美しくない	-----	-----	-----	-----	美しい		E	E	SP	
3 完全な	-----	-----	-----	-----	不完全な		E	E	MC	
4 不便な	-----	-----	-----	-----	便利な		E	E	MC	
5 広い	-----	-----	-----	-----	せまい		P	EP	Mg	
6 うるさい	-----	-----	-----	-----	静かな		A	A	Mg	
7 弱い	-----	-----	-----	-----	強い		P	EP	D	
8 新しい	-----	-----	-----	-----	古い		N	EA	D	
9 むずかしい	-----	-----	-----	-----	やさしい		A	EP	SP	
10 男らしい	-----	-----	-----	-----	女らしい		P	D	D	
11 嫌いな	-----	-----	-----	-----	好きな		—	E	SP	
12 はっきりしている	-----	-----	-----	-----	はっきりしていない		E	EP	D	
13 不愉快な	-----	-----	-----	-----	愉快的な		E	E	SP	
14 楽しい	-----	-----	-----	-----	苦しい		E	E	SP	
15 単純な	-----	-----	-----	-----	複雑な		A	P	—	
16 深い	-----	-----	-----	-----	浅い		P	A	Mg	
17 四角な	-----	-----	-----	-----	丸い		T	EP	SP	
18 やわらかい	-----	-----	-----	-----	かたい		P	P	SP	
19 正確な	-----	-----	-----	-----	不正確な		—	E	MC	
20 あかるい	-----	-----	-----	-----	くらい		E	E	SP	

註 1はオスグッドの分類によるもの E—Evaluation P—Potency A—Activity
N—Novelity T—Tautnessを示す。

2は意味尺度研究会の分類によるもの E—Evaluation P—Potency
A—Activity EP—EvaluationとPotencyの複合, EA—Evaluationと
Activityの複合。

3相良, 西村, 山本, 鮑戸, によるもの MC—Moral Correctness
SP—Sensory Pleasureこの二つをGeneral Evaluationとし, Mg—Magni-
tude D—Dynamismこの二つをGeneral Dynamismと名付けている。

学業成績とSD調査

① 教科別, 成績段階別, 男女別平均尺度得点の算出

② 成績段階間, 教科間 Dscoreの算出とプロフィールの作成

学習法診断検査とSD調査

① 教科別，学習法段階別，男女別平均尺度得点の算出

② 学習法段階間，教科間D scoreの算出とプロフィールの作成
なお，調査の実施は教育研究所員が行なった。

結果とその考察

1 S D 法の結果

各形容詞対尺度の得点は，教科別，学年別，性別に集計して第3表と第4表にまとめた。得点は左端に5点を与え，右へ4点，3点，2点，1点として平均と標準偏差を算出した。

平均点で目立ったものをみると，小6では国語には特に見当たらず，算数で，不便な—便利な(1.82) 正確な—不正確な(4.10)，体育で，弱い—強い(1.97) 楽しい—苦しい(4.13)，あかるい—くらい(4.35)，家庭科で，不便な—便利な(1.99)，男らしい—女らしい(1.61)，あかるい—くらい(4.15)があげられる。

中2ではやはり国語では特になく数学で，不便な—便利な(1.61)，単純な—複雑な(1.96)，正確な—不正確な(4.29)，保健体育(以下保体とする)で，広い—せまい(4.01)，弱い—強い(1.79)，あかるい—くらい(4.24)，技術家庭(以下技家とする)で，不便な—便利な(1.96)があげられる。

小6，中2とも同じものが多く，因子の分類からみれば，MC，SPに含まれるものである。

性別にみると，どの教科も大きな違いはみられないが，中2の技家が目立っている。これは男子と女子との間の教材内容の差からでてくるものと思われる。すなわち男らしい—女らしい(男4.30 女1.93)やわかい—かたい(男2.42 女3.57)である。

このように，得点がかたよっており，その拡がり小さいものについて特に男女の差がないというのは，それぞれの教科について，大部分のものが同じような感じ，イメージをもっていると考えてよいと思われる。

SD法の集計には，尺度得点とともにD scoreや各概念間，尺度間の相関が考えられている。D scoreは

$$D_{ij} = \sqrt{\sum D_{ij}^2}$$

によって示される。 D_{ij} は概念iとjとの同一尺度上の得点の距りを示すものであり， D_{ij} は使用された形容詞尺度において比較される二つの概念が，それぞれの尺度得点とは別に，どのような差をもって示されたかを示すものであり，相関係数とは別のものである。

このD scoreを示したものが第5表である。

第 3 表 中学 2 年 各意味尺度

教科 性別 平均標準偏差 スケール	国				語		数				学			
	男		女		計		男		女		計			
	M	SD	M	SD	M	SD	M	SD	M	SD	M	SD		
1 小 さ な	2.82	0.78	2.51	0.71	2.66	0.89	2.27	0.91	1.94	0.86	2.11	0.91		
2 美しくない	2.83	1.07	2.66	0.88	2.74	0.97	3.09	0.93	2.94	0.81	3.01	0.94		
3 完 全 な	3.14	1.00	3.20	0.92	3.17	0.96	3.88	1.12	4.03	1.07	3.96	1.10		
4 不 便 な	2.33	1.00	2.21	1.07	2.27	0.99	1.85	0.81	1.61	0.82	1.73	0.83		
5 広 い	3.30	1.06	3.90	0.97	3.61	1.06	3.77	1.09	4.01	0.94	3.90	1.01		
6 うるさい	2.76	1.06	2.50	1.09	2.68	1.08	3.21	0.82	3.14	1.01	3.17	0.96		
7 弱 い	3.32	0.96	3.26	0.82	3.29	0.89	2.56	0.97	2.37	1.05	2.46	1.02		
8 新 し い	2.48	1.03	2.66	1.00	2.56	1.03	3.33	1.10	3.43	1.14	3.38	1.13		
9 むずかしい	3.50	0.96	2.97	0.94	3.23	0.99	3.92	1.08	3.81	1.19	3.87	1.13		
10 男らしい	2.74	0.72	2.46	0.73	2.60	0.74	3.27	0.64	3.41	0.71	3.35	0.68		
11 嫌 い な	3.33	1.09	2.53	0.97	2.90	1.11	3.15	1.36	3.26	1.22	3.21	1.30		
12 はっきりしている	2.74	1.18	2.93	1.05	2.83	1.12	3.56	1.31	3.94	1.15	3.76	1.24		
13 不愉快な	2.94	0.85	2.79	0.68	2.86	0.77	3.12	1.01	3.03	0.79	3.07	0.91		
14 楽 し い	2.92	0.97	3.39	0.78	3.16	0.91	2.91	1.10	2.87	0.82	2.89	0.96		
15 単 純 な	2.47	0.94	2.56	1.08	2.51	1.01	1.96	1.03	1.96	0.95	1.96	0.97		
16 深 い	3.55	1.01	3.36	1.07	3.45	1.05	4.12	0.95	3.76	0.96	3.93	0.98		
17 四 角 な	3.06	0.98	2.67	0.88	2.86	1.09	3.42	0.92	3.57	0.94	3.50	0.93		
18 やわらかい	3.03	1.00	3.51	1.01	3.28	1.03	2.36	0.77	2.07	0.82	2.22	1.18		
19 正 確 な	2.96	1.13	3.14	1.02	3.04	1.07	4.17	1.00	4.40	0.92	4.29	0.97		
20 あかるい	3.03	0.84	3.54	0.77	3.29	0.84	3.15	0.89	3.10	0.85	3.13	0.87		

※ $M > 3$ は左のスケールに, $M < 3$ は右のスケールに近づく

第 4 表 小学 6 年 各意味尺度

教科 性別 平均標準偏差 スケール	国				語		算				数	
	男		女		計		男		女		計	
	M	SD	M	SD	M	SD	M	SD	M	SD	M	SD
1 小 さ な	2.25	0.89	2.42	0.88	2.34	0.88	2.23	1.08	2.26	1.08	2.24	0.99
2 美しくない	2.54	1.08	2.52	0.97	2.53	1.03	2.97	0.91	2.96	0.78	2.96	0.84
3 完 全 な	3.56	1.18	3.66	0.96	3.61	0.98	3.94	0.94	3.76	1.00	3.84	0.97
4 不 便 な	2.25	1.15	2.15	1.12	2.20	1.14	1.87	1.14	1.64	0.71	1.82	1.00
5 広 い	3.63	1.19	3.55	1.07	3.59	1.13	3.98	0.94	3.82	1.01	3.90	0.97
6 うるさい	2.78	1.10	2.44	1.13	2.60	1.13	3.03	0.85	3.11	0.83	3.08	0.84
7 弱 い	2.56	1.09	2.85	1.11	2.31	1.11	2.33	1.11	2.01	1.01	2.16	1.07
8 新 し い	3.19	1.18	2.89	1.37	3.19	1.09	3.62	1.08	3.75	0.96	3.69	1.01
9 むずかしい	3.46	0.97	3.20	1.08	2.32	1.04	3.38	1.17	3.69	1.00	3.54	1.11
10 男らしい	3.11	0.71	2.72	0.65	2.91	0.71	3.59	0.87	3.17	0.69	3.37	0.80
11 嫌 い な	3.30	1.16	2.52	1.03	2.89	1.17	2.81	1.32	2.89	1.20	2.85	1.17
12 はっきりしている	3.30	1.23	3.48	1.07	3.37	1.12	3.79	0.59	3.82	1.09	3.86	1.10
13 不愉快な	2.95	0.95	2.70	0.77	2.85	0.87	2.76	0.88	2.85	0.88	2.81	0.88
14 楽 し い	2.94	1.05	3.55	0.93	3.26	1.03	3.02	1.14	3.20	1.03	3.11	1.09
15 単 純 な	2.56	1.04	3.00	0.95	2.79	1.01	2.38	1.05	2.34	1.10	2.36	1.08
16 深 い	3.46	1.08	3.55	0.93	3.51	1.00	3.67	0.96	3.75	1.00	3.71	0.97
17 四 角 な	2.86	1.05	2.85	1.05	2.85	1.08	3.24	1.20	3.56	0.95	3.41	1.09
18 やわらかい	3.10	1.05	3.31	1.05	3.21	1.07	2.40	1.09	2.38	1.04	2.39	1.07
19 正 確 な	3.27	1.16	3.89	1.00	3.67	1.08	4.08	1.07	4.11	0.95	4.10	1.00
20 あかるい	3.46	1.05	3.77	0.93	3.60	1.00	3.62	1.03	3.55	0.84	3.58	0.94

得点（平均点と標準偏差）

保 健 体 育						技 術 家 庭						スケール
男		女		計		男		女		計		
M	SD	M	SD	M	SD	M	SD	M	SD	M	SD	
2.27	0.91	2.41	0.81	2.35	0.87	2.67	0.97	2.80	0.81	2.74	0.89	
2.24	1.04	2.17	0.92	2.21	0.95	2.83	0.92	2.41	0.93	2.62	0.95	
3.45	0.97	3.55	0.92	3.49	0.95	3.45	0.89	3.39	0.96	3.42	0.93	
2.26	0.99	2.31	0.94	2.29	0.97	2.12	1.09	1.79	0.93	1.96	1.03	
3.95	0.92	4.06	0.88	4.01	0.89	3.45	0.96	3.13	0.97	3.29	0.98	
3.55	0.92	3.55	0.83	3.54	0.88	3.73	0.81	2.69	1.08	2.84	0.79	
1.82	0.96	1.63	0.51	1.79	0.85	2.32	0.88	3.09	0.79	2.71	0.92	
3.62	0.91	3.63	0.95	3.63	0.93	3.24	1.17	3.06	0.98	3.15	1.08	
2.86	1.09	2.86	0.90	2.86	0.99	3.27	0.98	2.80	0.98	3.09	2.94	
3.88	0.76	3.56	0.79	3.71	0.79	4.00	0.80	1.93	0.81	2.94	1.31	
2.14	1.34	2.31	1.07	2.23	1.20	2.50	1.08	2.44	1.19	2.47	1.11	
3.61	0.95	3.86	1.00	3.74	0.98	3.48	0.97	3.16	0.99	3.31	1.00	
2.21	0.95	2.16	0.95	2.18	0.95	2.64	0.88	2.47	0.89	2.55	0.89	
3.77	1.10	3.96	0.92	3.87	1.01	3.59	0.87	3.67	0.94	3.63	0.91	
2.97	0.95	3.09	0.99	3.03	0.95	2.56	1.02	2.73	1.00	2.65	1.01	
3.04	0.97	3.13	0.85	3.09	0.91	3.29	0.95	3.04	0.77	3.16	0.87	
2.96	0.96	2.99	0.71	2.97	0.84	3.41	0.95	2.76	0.66	3.07	0.88	
3.30	1.04	3.47	1.02	3.39	1.03	2.42	0.92	3.57	0.91	3.02	1.08	
3.47	0.97	3.57	0.91	3.52	0.94	3.80	1.10	3.49	0.93	3.64	1.02	
4.08	0.88	4.39	0.81	4.24	0.85	3.24	0.87	4.04	0.79	3.65	0.92	

得点（平均点と標準偏差）

体				育				家				庭				スケール
男		女		計		男		女		計						
M	SD	M	SD	M	SD	M	SD	M	SD	M	SD	M	SD			
2.02	1.03	2.13	0.99	2.07	1.01	3.06	1.11	2.85	0.99	2.95	1.05	大	き	な		
2.54	1.18	2.39	1.13	2.46	1.16	2.29	1.06	2.29	1.07	2.28	1.10	美	し	い		
3.35	1.06	3.49	1.02	3.42	1.04	3.40	0.97	3.55	1.00	3.48	0.99	不	完	全		
2.23	0.94	2.17	0.93	2.19	0.93	2.17	1.12	1.82	0.96	1.99	1.05	便	利	な		
4.10	0.98	4.17	0.84	4.13	0.92	2.92	1.10	3.54	1.03	3.25	1.11	せ	ま	い		
3.40	0.93	3.56	0.91	3.49	0.92	2.94	1.27	2.30	1.07	2.60	1.21	静	か	な		
1.90	1.13	2.03	1.09	1.97	1.11	3.46	0.99	3.06	1.06	3.25	1.03	強		い		
3.90	1.01	3.62	1.03	3.72	1.03	3.41	1.26	3.25	1.03	3.33	1.14	古		い		
2.78	1.27	2.92	1.25	2.85	1.27	3.00	1.10	2.49	1.12	2.73	1.14	や	さ	し		
4.32	0.88	3.56	0.84	3.92	0.93	1.67	0.88	1.55	0.71	1.61	0.81	女	ら	し		
1.90	1.29	2.18	1.24	2.06	1.28	2.92	1.40	2.15	0.97	2.51	1.25	好	き	な		
3.71	1.02	3.63	1.00	3.66	1.01	3.13	0.98	3.31	1.12	3.27	1.03	は	き	り		
2.11	1.04	2.23	1.03	2.17	1.04	2.62	1.12	2.41	0.88	2.51	1.00	愉	快	な		
4.32	0.99	3.97	1.09	4.13	1.21	3.75	1.05	4.10	0.95	3.93	1.02	苦	し	い		
3.24	0.94	3.30	1.09	3.27	1.00	3.03	1.13	3.38	0.83	3.22	0.99	複	雑	な		
3.22	1.15	3.25	0.97	3.25	1.00	3.06	1.07	3.04	1.01	3.05	1.04	浅		い		
3.10	1.12	3.06	0.72	3.09	1.01	2.52	1.05	2.46	0.92	2.49	0.98	丸		い		
3.19	1.24	3.01	1.19	3.10	1.22	3.73	1.07	3.85	0.89	3.79	0.99	か	た	い		
3.70	0.95	3.70	0.93	3.70	0.94	3.40	1.38	3.70	0.85	3.56	0.91	不	正	確		
4.52	0.57	4.35	0.98	4.43	0.66	4.15	0.99	4.14	0.97	4.15	0.97	く	ら	い		

第5表 性別教科間D score

(1) 中 学 2 年

	国 語	数 学	保 体	技 家
国 語	※1.60	2.36	3.53	2.73
数 学	3.34	0.89	2.11	3.09
保 体	2.87	3.39	0.69	1.79
技 家	1.51	3.76	2.78	3.00

(2) 小 学 校 6 年

	国 語	算 数	体 育	家 庭
国 語	1.54	1.08	3.17	2.60
算 数	2.29	0.82	2.71	3.55
体 育	1.95	2.41	1.03	3.89
家 庭	1.99	3.78	3.06	1.65

※対角線の枠は男女間のD scoreを示す。

各学年とも対角線の上は男子を示し、下は女子を示す。

これによってみると平均得点でははっきりしなかった差を明らかにみることができる。

中2では、各教科を性別にみると、技家をもっとも大きく3.00、ついで国語1.60、数学0.89、体育0.69となっている。技家で差の大きいのは前にもふれたようにその教材内容の差からくるものと考えられる。また、国語については高学年になるにつれて男子は理科系、女子は文科系に興味をもつという一般的な傾向から考えられる。数学に差がないのは、その興味の対象としてよりは内容、性質についての判断が先に立って差をなくしたものと考えられる。

小6においても家庭で中2の技家ほどの差はみられないだけで、その他は同じような傾向を示している。

これをさらに、性別、教科間についてみると、中2男では国語・保体が3.53でもっとも大きく、ついで数学・技家(3.09)、国語・技家(2.73)、国語・数学(2.36)、数学・保体(2.11)、保体・技家(1.79)の順となっており、女子では数学・技家が3.76でもっとも大きく、数学・保体(3.39)、国語・数学(3.34)、国語・保体(2.87)、保体・技家(2.78)、国語・技家(1.51)の順である。

男子では国語は情緒的な面を含む性質から他の論理的な数学や運動・技能を含む保体・技家との差が大きく、女子では国語と技家との差は小さいが数学、保体で大きく、また、数学と保体・技家との差が大きくなっている。

小6男女でも大体同じような傾向を示し、男子で体育・家庭(3.89)、算数・家庭(3.55)、国語の体育(3.17)、算数・体育(2.71)、国語・家庭(2.60)、国語・算数(1.08)となり、女子では算数、家庭(3.78)、体育・家庭(3.06)、算数・体育(2.41)、国語・算数(2.29)、国語・家庭(1.99)、国語・体育(1.95)となっている。

興味、態度の方向としては中2にかなりはっきりとあらわれ、小6では全般にその差も小さくなっている。

これをさらに因子の分類によって示したのが第6表である。

第6表 男女,教科間における因子類別D s c o r

(1) 中 学 2 年

	男 女 間				男 子 教 科 間								女 子 教 科 間							
	国	数	保体	技家	国・数	国・体	国・技	数・技	数・体	体・技	国・数	国・体	国・技	数・技	数・体	体・技	国・数	国・体	国・技	数・技
MC	0.10	0.20	0.10	0.26	0.87	0.35	0.42	0.47	0.53	0.20	0.96	0.32	0.37	0.87	0.69	0.32	0.96	0.32	0.37	0.87
SP	0.48	0.44	0.17	0.57	0.33	0.76	0.48	0.45	0.82	0.57	0.77	0.48	0.26	0.92	0.96	0.24	0.77	0.48	0.26	0.92
D	0.91	0.22	0.22	1.12	0.73	1.18	0.96	0.40	0.50	0.33	0.79	0.10	0.36	0.82	0.95	1.18	0.79	0.10	0.36	0.82
Mg	0.36	0.28	0.10	0.56	0.51	0.63	0.51	0.56	0.57	0.35	0.67	0.50	0.45	0.75	0.45	0.66	0.67	0.50	0.45	0.75

(2) 小 学 6 年

	男 女 間				男 子 教 科 間								女 子 教 科 間							
	国語	算数	体育	家庭	国・算	国・体	国・家	算・家	算・体	体・家	国・算	国・体	国・家	算・家	算・体	体・家	国・算	国・体	国・家	算・家
MC	0.36	0.17	0.10	0.42	0.56	0.26	0.14	0.53	0.45	0.17	0.33	0.10	0.20	0.28	0.37	0.20	0.33	0.10	0.20	0.28
SP	0.40	0.17	0.20	0.36	0.41	0.87	0.52	0.69	0.77	0.54	0.52	0.39	0.46	0.95	0.68	0.41	0.52	0.39	0.46	0.95
D	0.30	0.28	0.42	0.91	0.37	0.81	0.86	1.17	0.48	1.58	0.66	0.69	0.62	1.03	0.22	1.16	0.66	0.69	0.62	1.03
Mg	0.20	0.10	0.10	0.64	0.24	0.37	0.56	0.74	0.32	0.82	0.39	0.37	0.35	0.63	0.39	0.80	0.39	0.37	0.35	0.63

まず性別にみると,中2では技家のD(1.17),国語のD(0.91),小6では家庭のD(0.91)で,いずれもDの差が大きい,Dとは弱い—強い,新しい—古い,男らしい—女らしい,はっきりしている—はっきりしていない,の4尺度である。また差の小さいものは中2では,国語・保体のMCと保体のMgがともに0.10である。また,小6では体育のMC,算数,体育のMgがともに0.10である。MCは完全な—不完全な,不便な—便利な,正確な—不正確な,の3尺度であり,Mgは,小さな—大きな,広い—せまい,うるさい—静かな,深い—浅い,の4尺度である。

次に,各教科について示された各尺度得点の順位によって順位相関係数を算出したのが第7表である。

第7表 教 科 間 順 位 相 関

(1) 学 年 別 相 関

	国 語	数(算)	保体(体)	技家(家)
国 語		0.87	0.66	0.65
数(算)	0.42		0.69	0.39
保体(体)	0.30	0.38		0.75
技家(家)	0.51	0.62	0.79	

(2) 中 学 2 年 男 女 , 教 科 別 相 関

	国 語	数 学	保 体	技 家
国 語		0.41	-0.20	0.04
数 学	0.34		0.37	0.68
保 体	0.45	0.46		0.70
技 家	0.83	0.29	0.63	

対角線より上は小6,下は中2
の相関係数を示す。

(3) 小学6年男女・教科別相関

	国語	算数	体育	家庭
国語	0.72	0.81	0.46	0.25
算数	0.72	0.97	0.67	0.18
体育	0.71	0.75	0.57	0.31
家庭	0.84	0.31	0.61	0.86

(2), (3)とも対角線上の枠は同一教科についての男女間の相関であり, 対角線の上は男子についての教科間相関を示し, 下は女子についての教科間相関を示す。

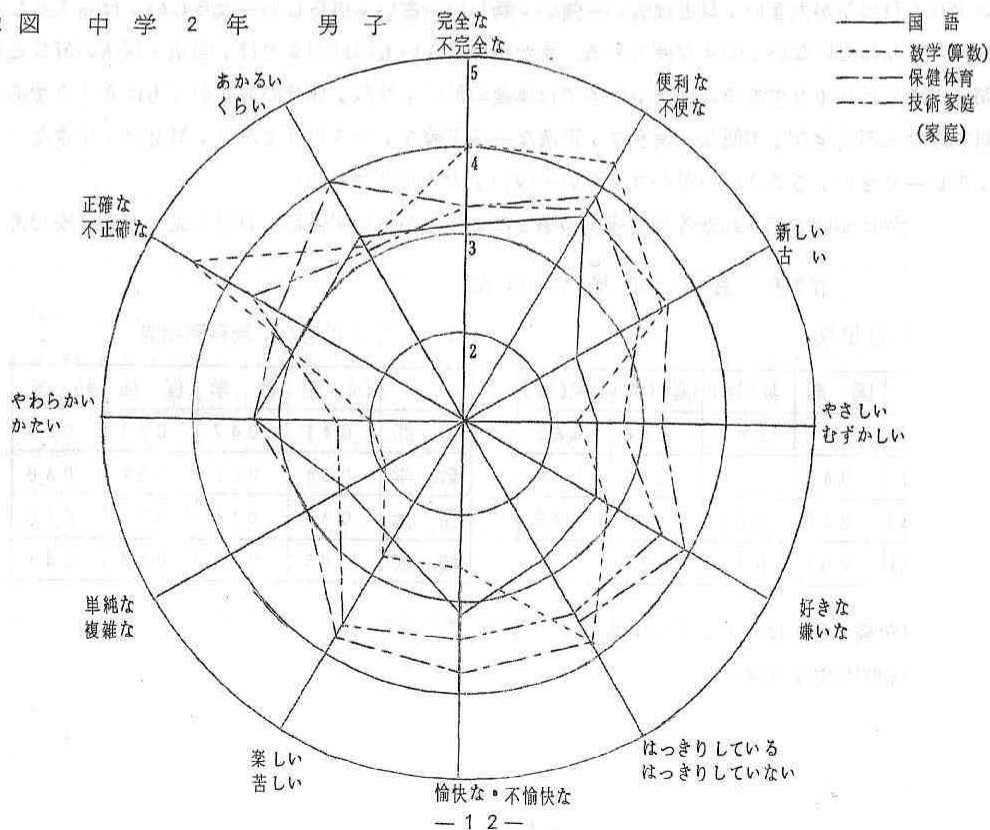
まず, 学年別にみると, 中2では, 保体と技家が0.79で高いが, 他は低い。運動と技能的な面とに共通した態度がみられるということである。男女間では数学, 保体が非常に高く, 教科の内容, 性質に対して男女間に共通した態度がみられるのに対して, 国語, 技家では非常に低い。これはD scoreのところでもみられたことである。

また, 男子では, 保体と技家に0.70と高い相関がみられるが, 他は低く, 国語と保体では逆の関係がみられる。女子では, 国語と技家に0.83の相関であるが, 他は低い。これらはいずれもこの4教科についての態度に独立性のあることを示している。

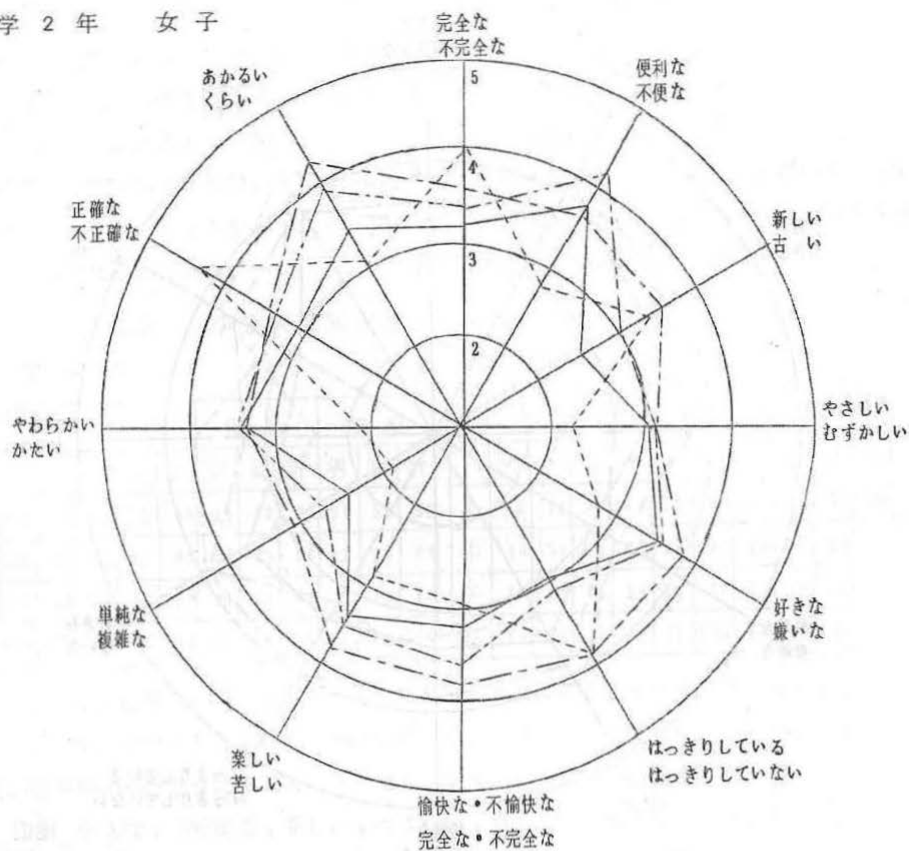
小6では, 国語と算数(0.87), 体育と家庭(0.75)に相関が高く, 男女間では算数(0.97)が非常に高く, 家庭(0.86), 国語(0.72), 体育(0.57)の順となっている。

男子では国語と算数に0.81と高い相関を示しているが, 他は低く, 女子では国語, 家庭で0.84と高く, 算数, 体育(0.75), 国語, 算数(0.72), 国語, 体育(0.71)と比較的高い相関を示しているが, 算数, 家庭では男子と同じように非常に低くなっている。

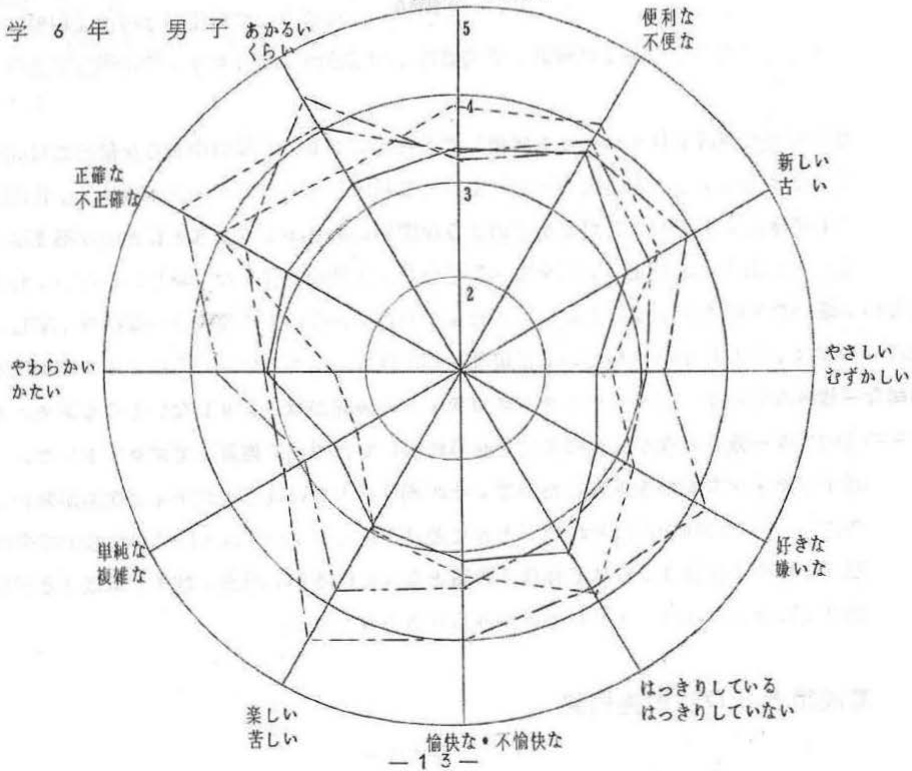
第2図 中学2年 男子



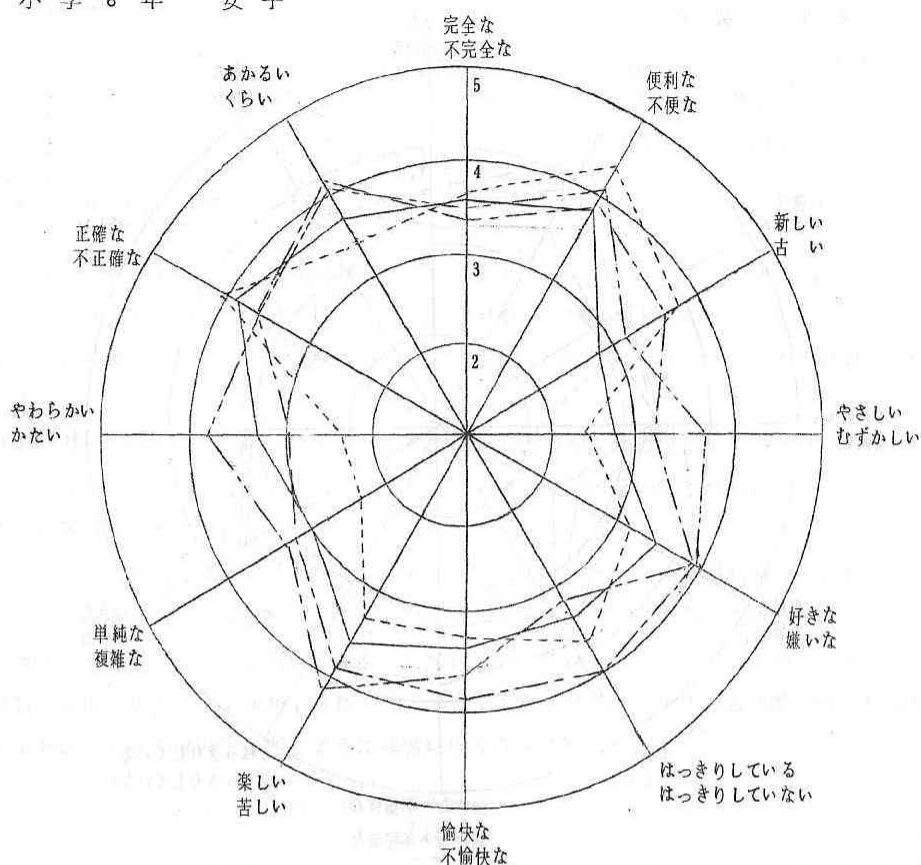
中学 2 年 女子



小学 6 年 男子



小学 6 年 女子



これまでに各尺度得点，D scoreを概観してきたが，20の尺度の中から比較的教科間に差のあるもの12対をとり出し，その方向性を一定にして各教科に対するポジティブ（積極的，肯定的）な面とネガティブ（消極的，否定的）な面とがどのような関係にあるかをみようとしたのが第2図のダイアグラムである。とり出された尺度は，完全な－不完全な，不便な－便利な，新しい－古い，むずかしい－やさしい，嫌いな－好きな，はっきりした－はっきりしていない，不愉快的な－愉快的な，楽しい－苦しい，単純な－複雑な，やわらかい－かたい，正確な－不正確な，あかるい－くらい，の12尺度であるが，「単純な－複雑な」のようにポジティブ，ネガティブの方向がはっきりしないものもある。また，調査ではその方向性を一致させなかったもので，それらについては得点を逆算してプロットした。

周辺部にポジティブなものを排列したので，その周囲が大きいほどポジティブな面が強いことを示している。各学年，男女の傾向にはそれほど大きな差はみられず，いずれも国語が比較的中央に集まり，数学（算数），技家（家庭），保体（体育）の順となっているが，国語，数学（算数）と保体（体育）技家（家庭）とにはかなりはっきりした差がみられるようである。

2 学業成績とSD法調査結果

教科に対する興味や関心がその担当教師によって大きく変化すると同様、自分の学習の結果として示される学業成績もまた、学習意欲、動機づけにおいて大きな条件となっていることも従来の学習心理学で明らかにされてきていることである。学業成績の変動と学習に対する態度の変容は、いずれが因であり、果であるかを結論づけることはできないが、ここでは、学業成績とその教科に対するイメージとの関係について、それがどのようなものであるか、その関係の様相について考察する。

学業成績としては昭和40年度、一学期の各教科の5段階評価を用いた。実際の集計にあたっては54の段階を上、3を中、2、1を下として、3段階によってまとめた。教科別、性別、段階別児童生徒数は第8表のようになっている。

第8表 学業成績別児童・生徒数

(1) 中学2年

(2) 小学6年

	国語			数学			保体			技家		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
上	22	31	53	32	23	55	19	32	51	31	31	62
中	25	21	46	20	32	52	26	25	51	32	28	60
下	19	18	37	14	15	29	21	13	34	3	11	14
計	66	70	136	66	70	136	66	70	136	66	70	136

	国語			算数			体育			家庭		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
上	16	21	37	19	23	42	19	19	38	15	28	43
中	30	31	61	25	28	53	30	37	67	27	31	58
下	17	19	36	19	20	39	14	15	29	21	12	33
計	63	71	134	63	71	134	63	71	134	63	71	134

各教科別、成績段階別の平均尺度得点は第9表と第10表に示されている。ここで、上、中、下の段階を通じて、一定の傾向のあるもの(得点の増減について)について、形容詞対のうち、上位群のものがより近い形容詞のみをとり出すと次のようなものがみられる。

中2 国語 小さな、不完全な、新しい、やさしい、男らしい、好きな、はっきりしていない、苦しい、深い、丸い、不正確な、くらい

数学 完全な、静かな、やさしい、女らしい、不愉快な、複雑な、深い、四角な、かたい、正確な、あかるい

保体 小さな、美しい、新しい、やさしい、好きな、愉快な、楽しい、複雑な、浅い、正確な、あかるい

技家 せまい、好きな、愉快な、楽しい、四角な、かたい、正確な

小6 国語 弱い、新しい、やさしい、女らしい、はっきりしていない、不愉快な、苦しい、深い、不正確な、くらい

算数 大きな、美しい、完全な、便利な、広い、静かな、強い、新しい、やさしい、好きな、はっきりしている、愉快な、複雑な、四角な、正確な、あかるい

体育 大きな、美しい、強い、新しい、好きな、はっきりしている、愉快な、楽しい、深い、丸い、正確な

家庭 女らしい、好きな、丸い、やわらかい、不正確な

第9表 中学2年学業成績別平均得点

学業成績 性別	教科 スケール(左のみ)	国 語									数 学								
		男			女			計			男			女			計		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1	小さな	3.00	2.80	2.68	2.58	2.67	2.55	2.76	2.74	2.60	2.25	2.15	2.50	2.09	1.75	2.27	2.18	1.90	2.38
2	美しくない	2.55	3.04	2.89	2.71	2.81	2.39	2.64	2.93	2.65	2.78	3.50	3.36	2.70	3.16	3.00	2.75	3.29	3.17
3	完全な	2.86	3.08	3.53	3.19	3.14	3.28	3.06	3.11	3.40	4.03	3.85	3.57	4.35	4.13	3.53	4.11	4.02	3.55
4	不便な	2.36	2.52	2.05	2.46	1.95	2.11	2.42	2.26	2.66	1.91	1.60	2.07	1.48	1.66	1.64	1.73	1.63	1.90
5	広 い	3.14	3.16	3.68	3.87	3.95	3.89	3.57	3.52	3.78	3.31	4.10	3.64	3.96	4.09	4.00	3.76	4.10	3.79
6	うるさい	2.59	3.08	3.47	2.42	2.76	2.78	2.49	2.93	2.65	3.06	3.30	3.43	3.09	3.09	3.27	3.07	3.17	3.34
7	弱 い	3.27	3.40	3.26	3.35	3.48	2.83	3.32	3.43	3.05	2.59	2.35	2.78	2.09	2.50	2.53	2.38	2.44	2.66
8	新しい	2.32	2.12	3.16	2.39	2.48	3.22	2.36	2.28	3.19	3.41	3.20	3.36	3.74	3.16	3.53	3.55	3.17	3.45
9	むずかしい	3.55	3.36	3.63	2.87	2.71	3.33	2.85	3.07	3.49	3.66	4.05	4.07	3.30	4.13	4.33	3.51	4.10	4.21
10	男らしい	2.55	2.80	2.89	2.35	2.43	2.67	2.43	2.63	2.78	3.22	3.25	3.43	3.43	3.41	3.40	3.31	3.35	3.41
11	嫌いな	3.14	3.24	3.68	2.46	2.62	2.89	2.74	2.96	3.30	2.62	3.35	4.07	2.52	3.47	3.93	2.58	3.42	4.00
12	はっきりしている	2.45	2.48	3.42	2.55	3.05	3.39	2.51	2.74	3.40	4.00	3.10	3.36	4.13	3.87	3.80	4.05	3.58	3.59
13	不愉快な	3.00	3.00	2.78	2.74	2.76	2.89	2.85	2.89	2.84	2.75	3.45	3.50	2.83	3.06	3.27	2.78	3.21	3.34
14	楽しい	2.65	3.04	3.11	3.42	3.24	3.50	3.09	3.13	3.30	2.97	2.70	3.07	3.04	3.72	2.93	3.00	2.71	3.00
15	単純な	2.09	2.64	2.79	2.48	2.62	2.61	2.32	2.68	2.65	1.75	2.00	2.36	2.00	1.87	2.20	1.85	1.92	2.28
16	深 い	4.09	3.52	2.95	3.52	3.14	3.33	3.75	3.35	3.14	4.25	3.95	3.36	4.00	3.59	3.80	4.15	3.79	3.59
17	四角な	3.05	3.12	3.11	2.58	2.76	2.72	2.77	2.91	2.92	3.56	3.25	3.36	3.61	3.59	3.47	3.58	3.54	3.41
18	やわらかい	2.77	2.92	3.47	3.58	3.52	3.39	3.24	3.19	3.43	2.16	2.60	2.50	1.78	2.09	2.53	2.00	2.25	2.52
19	正確な	2.65	3.04	3.16	2.90	3.05	3.67	2.79	3.04	3.40	4.41	4.15	2.79	4.96	4.28	3.80	4.62	4.21	3.79
20	あかるい	2.86	3.00	3.37	3.45	3.43	3.84	3.11	3.15	3.59	3.38	3.05	2.86	3.13	3.03	3.07	3.25	3.04	2.97

学業成績 性別	教科 スケール(左のみ)	保 健 体 育									技 術 家 庭								
		男			女			計			男			女			計		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1	小さな	2.47	2.23	2.29	2.62	2.40	2.23	2.55	2.31	2.26	2.90	2.66	2.67	3.06	2.64	2.45	2.82	2.65	2.71
2	美しくない	1.84	2.19	2.65	2.22	2.08	2.23	2.08	2.14	2.50	2.78	2.78	4.00	2.47	2.32	2.55	2.61	2.57	2.86
3	完全な	3.31	3.58	3.45	3.56	3.64	3.15	3.47	3.61	3.32	3.61	3.38	2.67	3.16	3.57	3.45	3.39	3.47	3.29
4	不便な	2.16	2.19	2.40	2.34	2.12	2.62	2.27	2.16	2.50	2.16	2.03	3.00	1.74	1.86	1.73	1.98	1.93	2.00
5	広 い	4.11	4.04	3.75	3.97	4.08	4.23	4.02	4.06	3.91	3.58	3.28	3.67	2.97	2.75	3.27	3.27	3.28	3.36
6	うるさい	3.73	3.50	3.45	3.44	3.44	3.62	3.55	3.47	3.50	3.94	3.50	4.00	2.52	2.96	2.55	3.22	3.25	2.86
7	弱 い	2.00	1.50	2.05	1.69	1.72	2.08	1.80	1.61	2.09	2.19	2.37	3.00	3.16	3.00	3.09	2.68	2.67	3.07
8	新しい	3.68	3.69	3.50	3.69	3.52	3.69	3.69	3.61	3.56	3.45	2.97	4.00	3.00	3.11	3.09	3.22	3.03	3.29
9	むずかしい	2.84	2.68	3.25	2.41	3.16	3.38	2.57	2.86	3.29	3.23	3.28	3.67	2.52	3.14	2.73	2.90	3.22	2.93
10	男らしい	4.00	4.11	3.60	3.47	3.68	3.85	3.67	3.78	3.68	4.00	4.00	3.67	2.00	2.29	0.73	3.00	3.03	1.36
11	嫌いな	1.95	1.73	2.80	1.84	2.48	3.15	1.88	2.10	2.95	2.32	2.53	4.00	2.16	2.57	2.91	2.24	2.55	3.14
12	はっきりしている	3.73	3.65	3.45	3.94	4.08	3.38	3.86	3.86	3.41	3.45	3.53	3.33	3.00	3.36	3.08	3.22	3.45	3.14
13	不愉快な	2.27	2.00	2.45	1.75	2.32	2.85	1.94	2.16	2.62	2.39	2.75	3.33	2.32	2.46	3.00	2.35	2.62	3.07
14	楽しい	3.95	3.69	3.75	4.16	3.84	3.69	4.08	3.76	3.41	3.61	3.56	3.67	3.84	3.64	3.27	3.73	3.60	3.36
15	単純な	2.90	2.96	3.05	3.31	2.76	3.15	3.00	3.06	3.26	2.42	2.59	3.33	2.84	2.45	3.09	2.65	2.53	3.14
16	深 い	2.79	3.08	3.35	3.13	3.04	3.15	3.00	3.06	3.26	3.52	3.09	3.00	3.06	2.96	3.18	3.29	3.33	3.14
17	四角な	2.95	3.00	2.90	3.00	3.08	3.02	2.98	3.04	2.97	3.71	3.13	3.33	3.35	2.89	2.73	3.18	3.02	2.86
18	やわらかい	3.37	3.50	3.00	3.41	3.52	3.69	3.39	3.51	3.26	2.03	2.69	3.33	3.77	3.32	3.64	2.90	2.98	3.57
19	正確な	3.31	3.50	3.40	3.72	3.68	3.00	3.65	3.59	3.24	4.16	3.53	3.00	3.23	3.75	3.55	3.69	3.63	3.43
20	あかるい	4.05	4.23	3.95	4.53	4.40	4.00	4.35	4.31	3.94	3.10	3.41	3.00	4.03	4.17	3.73	3.56	3.77	3.75

第10表 小学6年学業成績別平均得点

教科 学業成績 性別 スケール(左のみ)		国 語									算 数								
		男			女			計			男			女			計		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1	小さい	2.06	2.20	2.59	2.33	2.61	2.16	2.22	2.41	2.35	2.11	2.08	2.53	2.17	2.32	2.25	2.14	2.21	2.38
2	美しくない	2.31	2.70	2.42	2.29	2.77	2.42	2.30	2.74	2.42	2.63	2.96	3.26	2.96	2.93	3.00	2.81	2.94	3.13
3	完全な	2.94	4.07	3.29	3.81	3.45	3.79	3.22	3.75	3.56	4.05	4.04	3.68	4.04	3.61	3.55	4.05	3.80	3.62
4	不便な	2.44	2.10	2.30	2.00	1.87	2.84	2.19	1.98	2.58	1.47	1.84	2.32	1.65	1.75	2.15	1.57	1.79	2.23
5	広 い	3.94	3.50	3.47	3.43	3.45	3.84	3.65	3.48	3.67	4.21	4.12	3.58	3.87	3.79	3.90	4.02	3.94	3.74
6	うるさい	2.50	2.83	2.82	2.05	2.61	2.63	2.24	2.72	2.72	2.89	3.12	3.05	3.09	3.07	3.20	3.00	3.09	3.13
7	弱 い	2.44	2.40	2.88	3.05	3.00	2.42	2.78	2.70	2.64	1.79	2.32	2.89	1.61	2.21	2.20	1.71	2.26	2.51
8	新しい	2.69	3.23	3.58	2.52	3.13	4.00	2.60	3.18	3.81	3.63	3.56	3.63	3.91	3.75	3.65	3.79	3.66	3.64
9	むずかしい	3.31	3.47	3.70	2.90	3.00	3.73	3.08	3.23	3.72	2.42	3.40	4.11	3.70	3.43	4.05	3.26	3.42	4.08
10	男らしい	2.94	3.10	3.29	2.67	2.74	2.74	2.78	2.92	3.00	3.89	3.44	3.47	3.30	3.11	3.15	3.57	3.26	3.31
11	嫌いな	3.63	3.30	2.94	2.29	2.58	2.74	2.86	2.93	2.83	1.95	2.76	3.73	2.70	2.79	3.45	2.36	2.77	2.59
12	はっきりしてる	3.25	3.43	3.29	3.43	3.32	3.53	3.35	3.38	3.42	4.21	4.00	3.47	4.17	3.86	3.40	4.19	3.92	3.44
13	不愉快な	3.25	2.80	2.65	2.76	2.81	2.53	2.97	2.80	2.61	2.42	2.64	3.31	2.91	2.75	2.90	2.69	2.70	3.10
14	楽しい	2.69	2.97	3.18	3.48	3.58	3.63	3.14	3.31	3.48	3.26	3.32	2.27	3.39	3.21	2.85	3.33	3.26	2.62
15	単純な	2.00	2.60	2.88	2.57	2.98	3.47	2.32	2.79	3.19	2.05	2.46	2.74	2.00	2.71	2.70	2.02	2.55	2.72
16	深 い	3.50	3.50	3.35	4.10	3.39	3.47	3.78	3.44	3.39	3.79	3.68	3.53	4.04	3.46	3.85	3.93	3.57	3.69
17	四角な	3.06	2.80	2.65	3.00	2.65	3.00	3.03	2.72	2.83	3.31	3.28	3.11	3.87	3.43	3.45	3.62	3.36	3.28
18	やわらかい	2.81	3.33	3.00	3.00	3.54	3.21	2.92	3.44	3.11	2.53	2.24	2.53	2.22	2.64	2.15	2.37	2.45	2.33
19	正確な	3.00	3.60	3.53	3.90	3.77	4.11	3.51	3.68	3.83	4.63	4.04	3.58	4.17	4.25	3.95	4.38	4.15	3.77
20	あかるい	3.00	3.67	3.58	3.38	3.87	4.21	3.22	3.77	3.81	3.84	3.68	3.42	3.52	3.61	3.40	3.67	3.64	3.41

教科 学業成績 性別 スケール(左のみ)		体 育									家 庭								
		男			女			計			男			女			計		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1	小さな	1.63	2.20	2.14	2.16	1.97	2.47	1.89	2.07	2.31	3.27	2.96	3.10	2.96	2.81	2.67	3.05	2.88	2.94
2	美しくない	2.47	2.53	3.36	2.11	2.45	2.87	2.29	2.43	3.10	2.20	2.11	2.52	2.36	2.19	2.17	2.30	2.15	2.39
3	完全な	3.47	3.33	3.22	3.42	3.51	3.33	3.45	3.45	3.28	3.27	3.52	3.43	3.58	3.61	3.08	3.53	3.57	3.30
4	不便な	2.16	2.23	2.29	2.32	2.09	2.27	2.22	2.15	2.28	1.93	2.07	2.33	2.17	1.55	2.17	2.02	1.79	2.27
5	広 い	4.15	3.97	4.22	3.84	4.35	4.13	4.00	4.18	4.17	2.87	2.96	3.00	3.46	3.58	3.33	3.26	3.29	3.12
6	うるさい	3.53	3.23	3.64	3.63	3.57	3.47	3.58	3.42	3.55	3.27	2.56	3.10	2.17	2.42	2.67	2.56	2.48	2.94
7	弱 い	1.42	1.90	2.78	1.95	2.00	2.27	1.66	1.96	2.52	3.80	3.26	3.38	3.11	2.94	3.08	3.35	3.09	3.27
8	新しい	3.89	3.97	3.50	3.68	3.59	3.60	3.78	3.76	3.55	3.53	3.48	3.43	3.32	3.23	3.25	3.40	3.34	3.36
9	むずかしい	2.42	2.70	3.43	2.58	3.03	3.20	2.50	2.88	3.31	3.20	2.78	3.24	2.64	2.32	2.50	2.84	2.53	2.97
10	男らしい	4.42	4.20	4.43	3.63	3.46	3.73	4.08	3.79	4.07	1.69	1.74	1.95	1.43	1.55	1.58	1.40	1.64	1.82
11	嫌いな	1.32	2.17	2.50	1.63	2.24	2.80	1.42	2.29	2.71	2.93	2.89	2.62	2.11	2.06	2.67	2.40	2.45	2.64
12	はっきりしてる	4.00	3.53	3.64	3.68	3.76	3.33	3.84	3.64	3.48	3.00	3.26	2.86	3.32	3.42	3.00	3.21	3.34	2.91
13	不愉快な	1.84	2.20	2.29	2.00	2.11	2.73	1.92	2.15	2.52	2.60	2.52	2.86	2.43	2.39	2.17	2.49	2.45	2.61
14	楽しい	4.47	4.37	4.00	4.47	3.86	3.80	4.47	4.12	3.86	3.73	3.78	3.67	4.11	4.19	4.00	3.98	4.00	3.79
15	単純な	3.26	3.20	3.29	3.37	3.27	3.27	3.32	3.24	3.28	3.07	2.89	3.38	3.32	3.35	3.58	3.23	3.14	3.45
16	深 い	3.53	3.10	3.14	3.37	3.27	3.00	3.45	3.19	3.07	2.93	2.96	3.14	3.04	3.03	3.25	3.00	3.00	3.18
17	四角な	2.95	3.00	3.50	2.79	3.22	3.07	2.87	3.12	3.34	2.13	2.56	2.57	2.43	2.48	2.92	2.33	2.52	2.70
18	やわらかい	3.26	3.33	2.78	3.05	3.19	2.60	3.15	3.25	2.69	3.93	3.78	3.57	4.00	3.74	3.75	3.98	3.76	3.64
19	正確な	4.16	3.63	3.22	3.73	3.91	3.20	3.95	3.79	3.21	3.27	3.26	3.62	3.64	3.77	3.75	3.51	3.53	3.67
20	あかるい	4.53	4.53	4.50	4.31	4.46	4.27	4.42	4.49	4.38	4.20	4.22	4.05	4.04	4.23	4.17	4.09	4.22	4.09

このようにとり出された形容詞をみると、中2では国語に「好きな」がある反面、「苦しい」「くらい」といったポジティブなものとネガティブのものが混在し、数学においても「不愉快な」と「あかるい」という形容詞がみられるが、保体、技家では共通してポジティブな傾向がみられる。小6では国語においては中2と同様「やさしい」と「苦しい」「くらい」「不愉快」などが混在しているのに対し、他の教科は共通してポジティブな形容詞がみられる。すなわち、国語については、その教材の内容、性質から複雑なイメージが構成されているものと思われる。数学（算数）では、その教材の論理性のためか内容の複雑さを感じてはいても愉快な、好きなものとして受けとられている。保体（体育）、技家（家庭）では運動、技能の面から成績が上のものほど、共通して好きな楽しいものとなっている。

また、このようにみられるものは因子によってみればSPに属するものが多いのは、教科に対する態度、意見といったものが、単なる興味、関心によって左右されることも意味していると思われる。

さらにD scoreによって比較をすれば第11表のようになる。

第11表 学業成績別によるD score

(1) 中 学 2 年					(2) 小 学 6 年				
	国 語	数 学	保 体	技 家		国 語	算 数	体 育	家 庭
国 語	2.04	2.79	3.84	2.85	国 語	1.97	3.61	3.94	2.33
数 学	1.98	2.46	2.91	4.08	算 数	2.35	2.31	3.46	2.81
保 体	2.09	2.53	2.45	6.16	体 育	1.84	2.59	1.83	2.17
技 家	2.08	3.41	4.43	1.03	家 庭	1.86	3.27	2.91	2.33

(1)、(2)とも対角線上の枠は同一教科についての上・下間のD scoreを示す。

対角線の上は成績上位群、下は下位群のD scoreを示す。

小6の上位群では下位群より一般に差が大きく、体育・家庭で6.16、ついで算数・家庭(4.08) 国語・体育(3.84)、算数・体育(2.91)、国語・家庭(2.85)、国語・算数(2.79)であり、下位群ではやはり体育・家庭にもっとも大きく4.43、ついで算数・家庭(3.41)、算数・体育(2.53)、国語・体育(2.09)、国語・家庭(2.08)、国語・算数(1.98)と、上位群、下位群ともに差の大きさの順位については同じような傾向を示している。

中2では、一般に小6より小さく、上位群では国語・体育(3.94)、国語・数学(3.61)、数学・体育(3.46)、数学・技家(2.81)、国語・技家(2.33)、保体・技家(2.17)となり、下位群は小6と同じように全体的に小さく、数学・技家(3.27)、保体・技家(2.91) 国語・保体(2.59)、国語・数学(2.35)、国語・技家(1.86)、国語・保体(1.84)となっている。

これを因子別のD scoreによってみれば第12表のようになる。

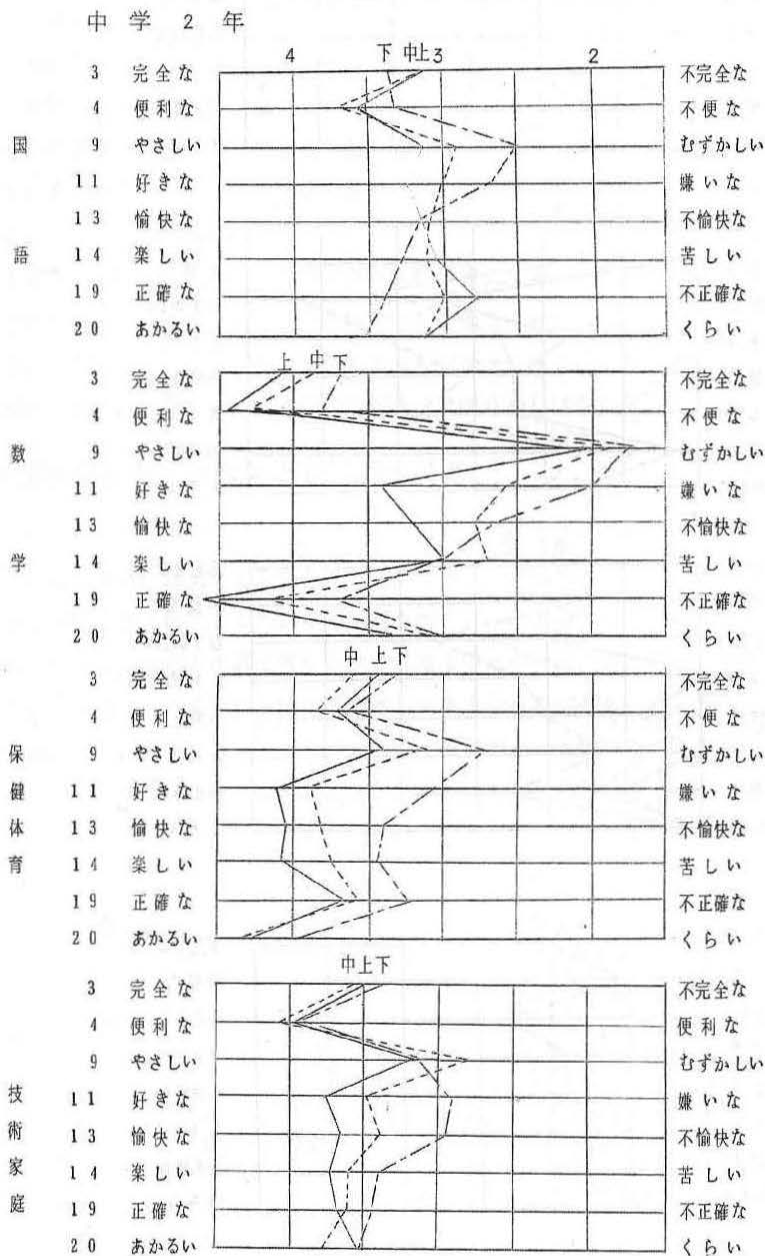
第12表 学業成績上位群下位群間因子別D score

	中 学 2 年				小 学 6 年			
	国 語	数 学	保 体	技 家	国 語	算 数	体 育	家 庭
MC	0.42	0.58	0.28	0.17	0.36	0.57	0.44	0.22
SP	0.37	0.65	0.59	0.51	0.96	0.62	0.62	0.22
D	0.65	0.90	0.17	0.84	0.69	0.57	1.33	0.26
Mg	0.35	0.62	0.20	0.26	0.62	0.24	0.37	0.22

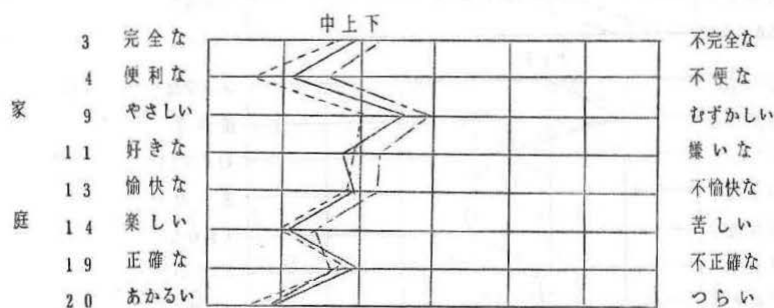
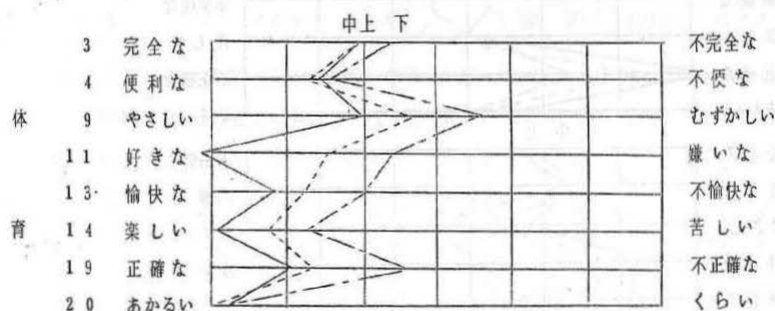
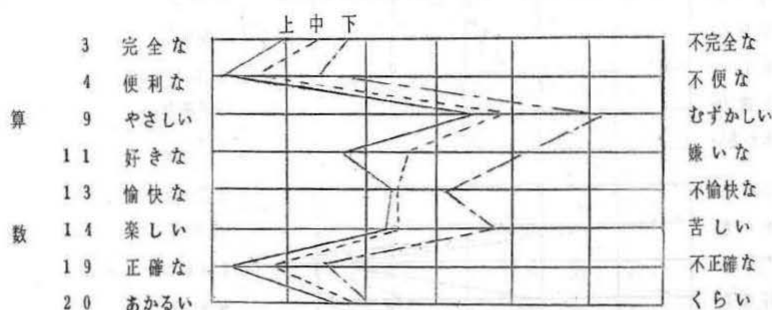
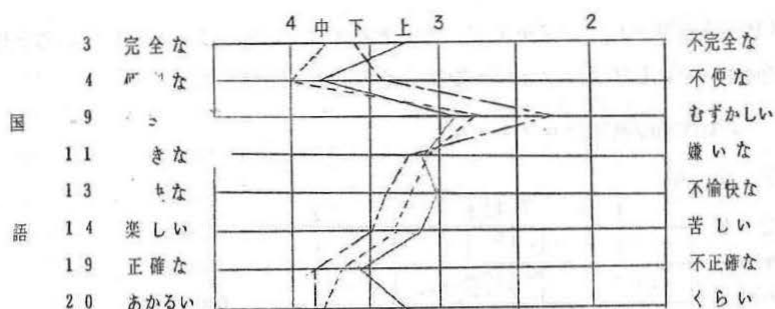
ここで目立つものは、小6では体育のDで1.33と国語のSP0.96である。中2では、数学のD0.90と技家のDの0.84が目立っている。

ここで、MCとSPから態度としてポジティブ、ネガティブの方向性のはっきりしていると思われる8尺度について、方向を一定にしてプロフィールを描いたのが第3図である。

第3図 学業成績段階別プロフィール



小学 6 年



このプロフィールから、中2、小6ともに国語においては、その差は別として、上位群、下位群とについての傾向の違いはみられないが、他の教科についてはそれぞれわずかずつではあるが上位群が下位

群に比較してポジティブな傾向がみられる。

学業成績とSD調査の結果とを概観したのであるが、特に教科を通じての顕著な傾向はみられないが、教科別にみると、次のようなことが要約されるであろう。

国語 上位群、下位群の間に一定の関係はみられない。上位群のほうがネガティブなものもあり、一定の傾向はみられないが、上、下の差は小さい。このようなことは、国語のもつ内容の多様性（論理的なもの、情緒的なものを含む）と数学などに比較して明快さが少ないためと考えられる。

数学（算数） 方向としては上位群になるほどポジティブな傾向が一応みられるが、その差は小さい。教材内容の有用性、明快性を示すものについては上、下位群ともに同一方向に大きな反応を示している。また、上位群ほど内容の理解とともに興味の深まりがみられるのは国語と異なる点である。

保体（体育）、技家（家庭） この2教科は前二者とはまた別な意味ではっきりした傾向がみられる。方向としては上位群、下位群の差はないが、強さにおいては、SP尺度において特に反応が片より、上位群において、よりポジティブなものがみられる。中2の技家では男女によって教材の差があるため、MC、D、Mgの因子尺度は考察されねばならない。

3 学習法診断検査の結果とSD調査結果

教室外における学習活動としては、主として家庭における学習があるが、予習、復習、あるいは宿題などについての習慣、態度がどのようにして形成されていくのかということは興味のある問題である。これらは「学校」や「教師」についての制度や地位、役割等についての観念や意識からつくられる態度と現実の学校生活、教師の指導法等からうまれるものとの一致、背反等からも考察される必要がある。また、これは両親、家族の意識、観念と関連して考えられるべきものである。

ここでは、予習、復習についての一般的な態度の様相と、各教科についてのイメージがどのような関係にあるかをみようとしたものである。

学習態度については、田研式「学習法診断検査」を使用して偏差値を算出し、実際には上（偏差値55以上）中（54～45）、下（44以下）の3段階に分類して比較を試みた。なお、各段階の児童・生徒数は第13表のようになっている。

第13表 学習法段階別児童・生徒数

	中 学 2 年			小 学 6 年		
	男	女	計	男	女	計
上	10	12	22	5	18	23
中	20	30	50	31	39	70
下	36	28	64	27	14	41
計	66	70	166	63	71	134

第14表 中学2年学習法偏差値による平均得点

教科 性別 学習態度 スケール(左のみ)	国 語									数 学								
	男			女			計			男			女			計		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1 小さな	270	280	286	292	250	236	282	262	264	180	255	225	217	191	193	200	215	211
2 美しくない	230	300	289	242	260	282	236	276	286	280	315	314	308	294	282	295	302	300
3 完全な	280	315	326	325	323	293	305	320	318	440	305	400	442	394	396	441	373	398
4 不便な	210	235	339	208	223	225	209	228	233	160	215	175	142	163	169	150	183	173
5 広 い	320	350	322	400	398	382	364	376	348	450	345	375	375	394	423	409	375	395
6 うるさい	300	260	278	267	263	254	282	262	268	290	335	322	300	294	342	295	310	331
7 弱 い	330	355	319	292	333	332	309	342	325	200	240	281	217	238	246	209	238	266
8 新しい	210	235	267	233	253	293	223	246	278	370	345	317	367	347	327	358	346	321
9 むずかしい	360	335	356	333	290	289	345	305	327	390	345	419	367	419	365	377	390	397
10 男らしい	250	280	278	267	240	243	259	256	262	380	320	317	350	334	346	364	329	329
11 嫌いな	280	315	358	250	256	268	264	282	318	240	295	347	308	347	308	277	327	331
12 はっきりしてる	260	265	283	292	280	307	277	278	294	390	305	375	475	381	373	436	352	374
13 不愉快な	230	285	317	242	293	279	236	290	300	240	310	333	292	303	331	258	306	323
14 楽しい	310	300	283	358	333	335	336	320	306	360	300	267	317	272	292	336	283	277
15 単純な	190	225	275	183	250	293	186	240	283	160	215	194	208	203	185	186	208	190
16 深 い	390	370	336	400	357	286	395	362	314	430	415	406	392	387	364	409	398	388
17 四角な	300	295	313	283	270	257	291	280	289	370	340	336	350	363	354	359	354	344
18 やわらかい	310	315	294	308	350	371	309	336	328	180	265	236	142	223	218	160	240	228
19 正確な	270	295	303	325	327	299	300	312	300	450	390	422	500	420	436	475	408	428
20 あかるい	300	295	308	375	350	350	341	328	327	390	330	286	292	283	296	335	326	291

教科 性別 学習態度 スケール(左のみ)	保 健 体 育									技 術 家 庭								
	男			女			計			男			女			計		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1 小さな	170	255	228	275	230	239	227	240	233	200	275	281	258	293	275	232	286	278
2 美しくない	160	240	233	267	193	221	213	212	228	230	270	306	242	233	250	236	248	257
3 完全な	370	350	335	333	383	325	350	370	332	360	340	344	375	347	314	368	344	332
4 不便な	180	240	231	250	210	246	217	222	237	150	210	233	183	163	193	164	182	217
5 広 い	400	385	400	408	417	393	405	404	397	360	330	350	341	207	318	350	310	336
6 うるさい	410	350	342	391	353	336	400	352	339	400	370	367	291	210	321	341	274	347
7 弱 い	150	165	200	107	153	207	159	158	203	170	240	244	333	300	311	259	274	273
8 新しい	410	350	356	383	370	346	395	358	352	350	295	333	284	307	314	316	302	325
9 むずかしい	270	265	303	292	287	282	282	278	294	290	315	344	283	277	282	287	292	317
10 男らしい	420	390	378	350	377	336	283	382	359	410	375	411	192	180	211	291	258	322
11 嫌いな	190	235	208	267	210	239	232	220	222	180	245	272	208	233	271	195	238	272
12 はっきりしてる	410	345	356	383	387	386	395	370	369	360	325	358	325	323	304	341	324	334
13 不愉快な	220	215	225	217	323	207	217	220	217	160	275	287	200	263	278	182	268	270
14 楽しい	320	390	386	383	403	393	355	398	389	380	350	358	392	363	361	386	358	359
15 単純な	210	325	306	317	307	307	268	314	306	200	260	269	225	290	275	214	278	272
16 深 い	330	265	317	300	317	307	314	302	313	380	340	308	342	293	300	359	312	305
17 四角な	280	295	300	275	320	286	277	310	294	380	360	319	268	267	293	314	267	308
18 やわらかい	400	310	322	375	347	336	386	332	328	210	350	247	383	243	346	305	243	291
19 正確な	400	310	353	367	370	339	383	346	347	420	365	378	333	343	354	373	343	367
20 あかるい	420	425	394	442	447	429	432	438	409	340	315	325	425	420	379	386	420	348

第15表 小学6年学習法偏差値による平均得点

教科 性別 学習態度 スケール(左のみ)	国 語									算 数								
	男			女			計			男			女			計		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1 小さな	1.80	3.23	2.37	2.50	2.31	2.64	2.45	2.27	2.47	2.20	2.13	2.33	2.28	2.26	2.21	2.26	2.20	2.29
2 美しくない	2.40	2.26	2.93	2.16	2.69	2.50	2.17	2.56	2.78	2.80	2.71	3.29	3.00	2.87	3.14	2.96	2.80	3.24
3 完全な	3.60	3.58	3.53	3.72	3.74	3.36	3.70	3.67	3.46	4.60	3.97	3.78	4.11	3.78	3.22	4.22	3.87	3.59
4 不便な	1.60	2.36	2.36	2.11	2.13	2.29	2.00	2.19	2.34	2.20	1.84	1.85	1.61	1.72	2.14	1.74	1.77	1.95
5 広 い	4.00	3.61	3.59	3.44	3.74	3.07	3.57	3.69	3.44	4.40	4.00	3.89	4.40	3.92	3.43	4.09	3.96	3.68
6 うるさい	2.30	2.65	2.93	2.50	2.26	2.86	2.56	2.43	2.90	3.80	2.94	3.00	2.89	3.23	3.07	3.04	3.10	3.02
7 弱 い	3.00	2.00	2.63	2.94	2.85	2.78	2.91	2.66	2.68	2.00	2.23	2.52	1.89	1.97	2.29	1.91	2.09	2.44
8 新しい	3.80	3.16	3.11	3.50	2.74	2.71	3.57	2.93	2.98	4.00	3.58	3.59	3.72	3.82	3.57	3.78	3.71	3.59
9 むずかしい	3.50	3.42	3.48	3.11	3.13	3.50	3.22	3.26	3.49	3.40	3.39	3.37	3.22	3.95	3.57	3.26	3.70	3.44
10 男らしい	3.00	3.19	3.07	2.89	2.63	2.78	2.91	2.89	2.95	3.40	3.65	3.56	3.28	3.26	2.78	3.30	3.43	3.29
11 嫌いな	3.60	3.35	3.36	2.16	2.72	2.71	2.48	2.94	3.02	3.00	2.81	2.78	2.28	2.38	2.28	2.43	3.13	2.61
12 はっきりしている	2.40	3.54	3.19	3.33	3.46	3.43	3.13	3.50	3.27	4.60	3.87	3.81	4.22	3.92	3.00	4.30	3.90	3.54
13 不愉快な	3.60	3.06	2.78	2.56	2.74	2.78	2.78	2.89	2.73	2.60	2.71	2.85	2.72	2.87	2.93	2.70	2.80	2.38
14 楽しい	2.40	2.94	3.04	3.94	3.41	3.43	3.61	3.20	2.98	3.60	3.10	2.81	3.50	2.90	3.64	3.52	2.99	3.10
15 単純な	2.80	2.52	2.56	3.28	2.87	3.00	3.17	2.71	2.71	3.00	2.06	2.63	1.83	2.44	2.43	2.09	2.33	2.56
16 深 い	3.80	3.61	3.22	3.72	3.62	3.14	3.74	3.61	3.20	3.40	3.81	3.55	3.78	3.77	3.64	3.70	3.79	3.59
17 四角な	3.20	2.83	2.81	3.00	2.64	3.22	3.04	2.73	2.95	3.20	3.35	3.15	3.67	3.71	3.00	3.57	3.56	3.07
18 やわらかい	3.00	2.90	3.33	3.28	3.38	3.14	3.22	3.17	3.27	1.60	2.39	2.56	2.50	2.18	2.78	2.30	2.27	2.63
19 正確な	3.20	3.68	3.19	3.67	4.03	3.79	3.57	3.87	3.29	4.80	4.10	3.93	4.39	4.23	3.43	4.48	4.17	3.76
20 あかるい	3.00	3.35	3.67	3.67	3.85	3.71	3.52	3.63	3.68	4.00	3.68	3.48	3.72	3.41	3.71	3.78	3.53	3.56

教科 性別 学習態度 スケール(左のみ)	体 育									家 庭								
	男			女			計			男			女			計		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1 小さな	2.20	2.00	2.00	2.22	1.90	2.64	2.22	1.94	2.22	3.80	2.87	3.15	3.06	2.67	3.22	3.22	2.76	3.12
2 美しくない	3.20	2.52	2.44	2.22	2.29	2.93	2.43	2.39	2.61	2.20	2.16	2.44	2.00	2.31	2.56	2.35	2.24	2.49
3 完全な	3.80	3.84	3.11	3.56	3.49	3.22	3.61	3.49	3.15	4.00	3.32	3.37	3.56	3.62	3.36	3.65	3.49	3.37
4 不便な	2.00	2.16	2.33	2.28	2.05	2.36	2.22	2.10	2.34	2.00	2.19	2.19	1.50	1.92	1.93	1.61	1.76	2.10
5 広 い	5.00	4.26	3.74	4.06	4.33	3.86	4.26	4.30	3.78	2.60	3.00	2.96	3.39	3.64	3.43	3.13	3.36	3.12
6 うるさい	3.20	3.54	3.26	3.61	3.69	3.14	3.52	3.63	3.22	2.80	3.03	2.85	2.94	2.33	2.64	2.13	2.64	2.78
7 弱 い	2.60	1.90	1.96	2.06	1.92	2.29	1.96	1.91	2.12	3.80	3.54	3.29	3.11	3.00	3.14	3.26	3.24	3.24
8 新しい	4.60	3.87	3.81	3.61	3.62	3.64	3.83	3.73	3.76	4.00	3.32	3.41	3.11	3.49	2.78	3.30	3.41	3.20
9 むずかしい	2.80	2.65	2.85	3.50	2.59	3.07	3.35	2.61	2.98	2.00	3.03	3.15	2.33	2.51	2.63	2.26	2.74	2.98
10 男らしい	4.40	4.48	4.11	3.72	3.49	3.57	3.87	3.93	3.93	2.65	1.52	1.85	1.44	1.56	1.64	1.48	1.54	1.78
11 嫌いな	1.80	2.02	1.78	2.33	2.18	2.00	2.22	2.17	1.85	2.40	3.06	2.85	1.83	2.23	2.36	1.96	2.60	2.68
12 はっきりしている	4.00	3.68	3.70	3.61	3.69	3.43	3.70	3.69	3.61	3.60	3.19	2.96	3.44	3.08	3.79	3.48	3.13	3.24
13 不愉快な	2.40	2.10	2.07	2.28	2.10	2.50	2.30	2.10	2.22	2.40	2.58	2.71	2.06	2.41	2.86	2.13	2.49	2.76
14 楽しい	4.40	4.32	4.29	3.94	3.92	4.14	4.04	4.10	4.24	4.20	3.71	3.70	4.50	4.00	3.79	4.48	3.87	3.73
15 単純な	3.80	3.13	3.26	3.39	3.21	3.43	3.48	3.17	3.32	3.60	3.06	2.89	3.44	3.49	3.00	3.48	3.30	2.93
16 深 い	2.40	3.45	3.19	3.28	3.31	3.07	3.09	3.37	3.15	2.40	3.10	3.15	3.33	2.85	2.78	3.13	2.97	3.17
17 四角な	3.60	2.74	3.41	3.28	3.00	3.22	3.34	2.89	3.34	2.40	2.77	2.48	2.33	2.33	3.00	2.35	2.44	2.66
18 やわらかい	3.40	3.58	2.71	3.00	2.92	3.29	3.09	3.21	3.10	4.20	3.84	3.52	4.06	3.82	3.64	4.09	3.83	3.56
19 正確な	4.20	3.81	3.48	3.94	3.69	3.43	4.00	3.74	3.46	4.00	3.45	3.22	3.89	3.69	3.50	3.91	3.59	3.32
20 あかるい	5.00	4.52	4.44	4.56	4.28	4.29	4.65	4.39	4.39	4.60	4.39	3.81	4.33	4.15	3.93	4.35	4.26	3.85

各段階別のSD尺度平均得点は第14, 15表に示される。上, 中, 下の各段階を通じて一定の傾向がみられる尺度で, 上位群がより近くなる形容詞は次のようなものである。

中2 国語 美しい, 便利な, 古い, 好きな, はっきりしていない, 愉快的, 楽しい, 複雑な, 深いあかるい

数学 静かな, 強い, 新しい, やさしい, 好きな, 愉快的, 楽しい, 深い, 四角な, あかるい

保体 便利な, 広い, うるさい, 新しい, 男らしい, はっきりしている, やわらかい

技家 美しい, 完全な, 便利な, やさしい, 好きな, 愉快的, 深い

小6 国語 美しい, 完全な, 便利な, やさしい, 好きな, 楽しい, 深い, くらい

算数 完全な, 便利な, 広い, 強い, 新しい, はっきりしている, 愉快的, 複雑な, 四角な, 正確な

体育 完全な, 嫌いな, はっきりしている, 苦しい, 正確な

家庭 完全な, 便利な, 静かな, やさしい, 女らしい, 好きな, 愉快的, 楽しい, 単純な, 丸い, やわらかい, 正確な, あかるい

学年, 教科を通じて比較的ポジティブと考えられるものがみられる。すなわち, 学習態度が上と判断されるものは, 教科についてのイメージも好意的, 積極的であることがわかる。小6の体育にのみ, 「嫌いな」「苦しい」という, 他の教科とは逆な傾向がみられる。実際には, 体育という教科は予習, 復習といった日常の家庭学習に直接関係していないことを考えれば, 他の教科と異なった傾向がみられるのも当然である。中2の保体においても他の教科と比較すれば, ポジティブと思われるものは見当たらない。

これをD scoreによって示したのが第16表である。

第16表 学習法上・下位群別のD score

(1) 中学2年

	国語	数学	保体	技家
国語	1.79	4.03	3.61	2.28
数学	2.96	1.93	3.58	3.29
保体	2.76	3.46	1.32	2.37
技家	1.69	2.51	1.70	1.76

(2) 小学6年

	国語	算数	体育	家庭
国語	1.56	2.70	4.36	2.91
算数	1.43	1.89	2.48	4.49
体育	3.60	2.33	1.15	3.98
家庭	1.91	2.64	3.21	1.94

(1), (2)とも対角線上の枠は同一教科について上位群, 下位群間のD scoreを示し,

対角線より上は上位群, 下は下位群における教科間のD scoreを示す。

上, 下位群内においては, 中2, 小6ともに上位群において教科間の差が大きい。中2の上位群では国語・数学(4.03), 国語・保体(3.61), 数学・保体(3.58), 数学・技家(3.29) 保体・技家(2.37), 国語・技家(2.28)であるのに対し, 下位群では数学・保体(3.46) 国語・数学(2.96), 国語・保体(2.76), 数学・技家(2.51), 保体・技家(1.70) 国語・技家(1.69)となっている。また, 小6の上位群では算数, 家庭(4.49), 国語・体育(4.36), 体育・家庭(3.98), 国語・家庭(2.91), 国語・算数(2.70), 算数・体育(2.48)であるのに対し, 下位群では国語・体育(3.60), 体育・家庭(3.21), 算数・家庭(2.64), 算数・体育(2.33), 国語・家庭(1.91), 国語・算数(1.43)

である。上位群に大きいというのはそれだけ教科に対する意識が明確に区別されて存在することも考えられる。

同一教科についての上・下位群間の差は中2，小6ともに大きな変化はない。学年を共通して数学（算数），国語においては比較的大きく，体育においては小さい。国語，数学（算数）といった教科は，毎日の予習，復習等の習慣が大きく影響するのに対し，保体（体育）ではそのような習慣，態度とはあまり関係がないことが示される。

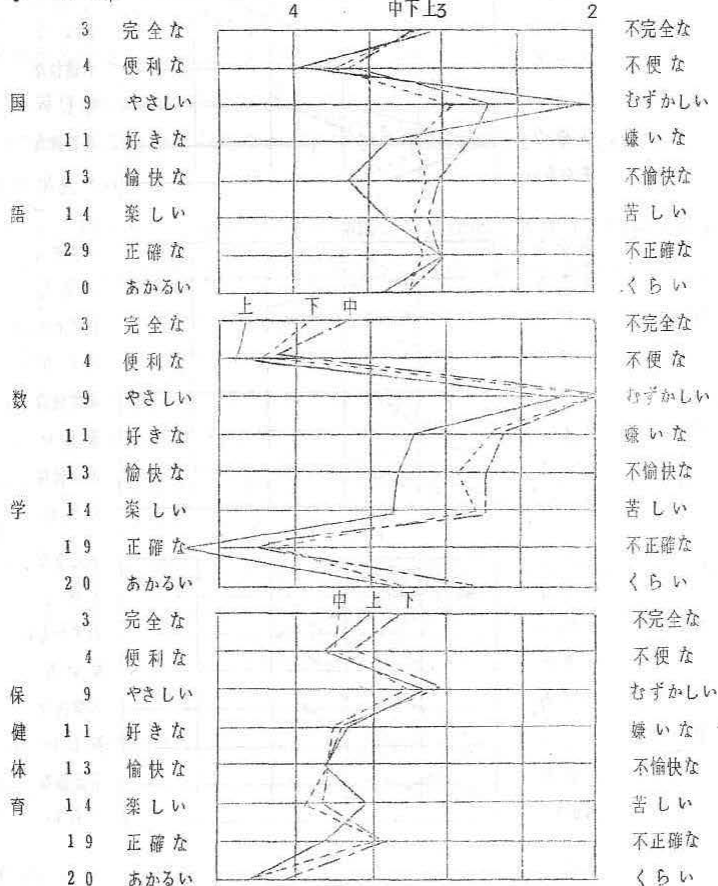
これらのD scoreを因子別にみたのが第17表である。

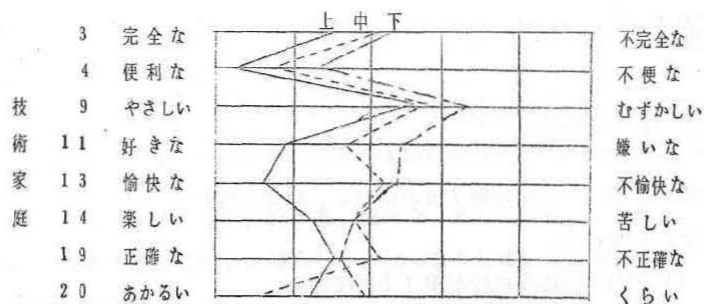
第17表 学習法上位群下位群間因子別D score

	中学2年				小学6年			
	国語	数学	保体	技家	国語	算数	体育	家庭
MC	0.14	0.62	0.26	0.35	0.26	0.57	0.41	0.47
SP	0.37	0.66	0.26	0.46	0.39	0.39	0.71	0.54
D	0.30	0.71	0.33	0.17	0.33	0.51	0.10	0.20
Mg	0.44	0.53	0.32	0.54	0.33	0.22	0.28	0.33

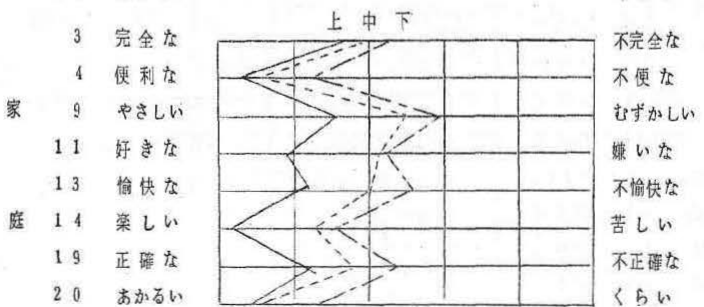
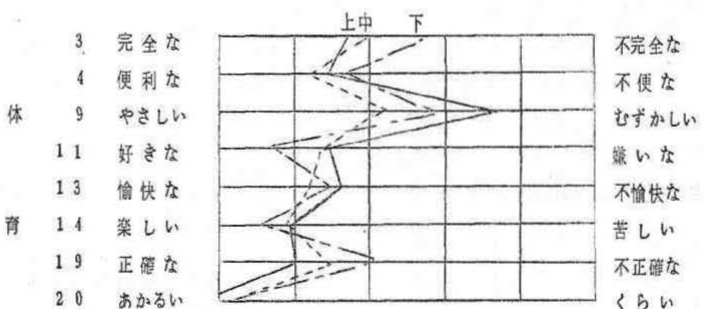
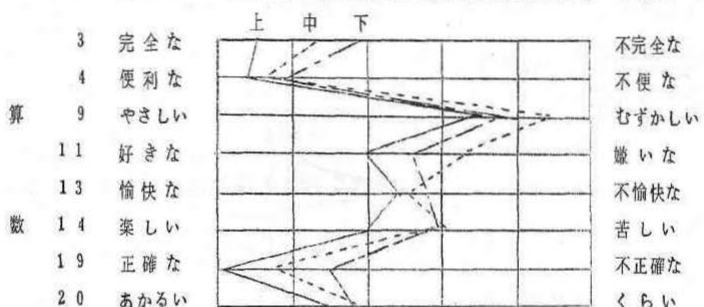
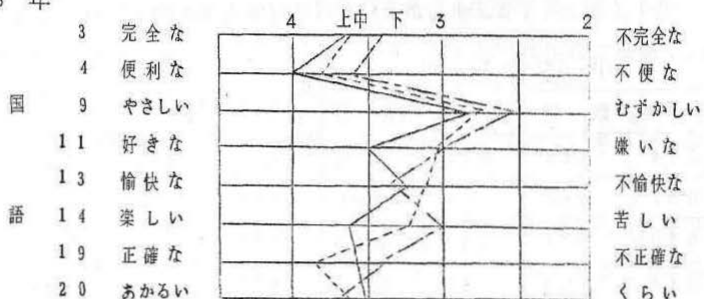
第4図 学習法段階別プロフィール

中学2年





小学 6 年



中2では数学において比較的Dが大きく、他はあまり差がない。小6でもある程度同じことがいえるが、体育、家庭のSPが0.71, 0.54と比較的大きい。数学や算数などの論理的教科においてはやはり日常の学習習慣や態度が教材のイメージに影響しているものと思われる。

20対の形容詞尺度のうちから学業成績との関係でみたものと同じ8つの形容詞尺度について、プロフィールを描いたのが第4図である。

国語では比較的中央に寄っているが、上位群ではむずかしさの方向に大きく、それだけ明確に意識されているものと思われる。

数学(算数)は上, 中, 下位群ともに同じ傾向を示しているが、上位群が平均してポジティブな傾向がみられる。

保体(体育)では上, 中, 下位群に一定の傾向はみられないが、ここに示された尺度ではほとんどがポジティブの方向を示している。

技家(家庭)では、上, 中, 下位群の順にポジティブな傾向が明瞭であり、また、保体(体育)と同じように上, 中, 下位群を通じてほとんどがポジティブな方向を示している。

要 約

中学校2年、小学校6年の児童生徒を対象に国語、数学(算数)保健体育(体育)、技術家庭(家庭)の4教科についてのイメージをSD法によって調査し、学業成績、学習態度との関係を考察した。

SD法による調査結果からは次のようなことが考えられた。

- 1) 全体的に評価的因子をもつ尺度に反応が大きく、とくに「やさしい-むずかしい」「たのしい-苦しい」等の尺度に強い反応がみられた。
- 2) 性差については大きな差はみられないが、中学2年の技家のように教材の異なるものについてははっきりした差があった。
- 3) 教科においては国語・数学(算数)が比較的類似し、保体(体育)、技家(家庭)が類似した傾向を示し、両者の傾向には差がみられた。すなわち、国語・数学(算数)ではポジティブ・ネガティブの方向がかなりはっきりしているが、保体(体育)、技家(家庭)ではネガティブなものはほとんどみられなかった。

学業成績については、5段階評価を用い、集計は3段階で行なった。

- 1) 上位群は下位群より評価的因子に反応が大きく、方向としては比較的ポジティブと考えられた。
- 2) 教科間の差については上位群に大きく、下位群に小さい。上位群においては教科に対する意識がはっきりしていることがうかがわれた。
- 3) 同一教科については上, 下位群の差は小さく、また教科別にもみてもほとんど差はなかった。

学習態度については田研式「学習法診断検査」を実施し、3段階にして考察した。

- 1) 上位群にあつては下位群より評価的因子において強く反応し、比較的ポジティブな傾向がみられた。
- 2) 小学6年の体育、家庭では上位群にネガティブな傾向がみられた。
- 3) 教科間の差については上位群に大きな差がみられ、国語、数学(算数)の差が比較的大きかった。

次の段階としては、イメージの構造分析がなされなければならない。また、イメージや態度がどのよ

うに形成され影響されてくるかについての分析が必要である。ここで用いられた方法についても、SD尺度構成について更に検討を要するとともに、学業成績、学習態度についても詳細な分析が必要であろうと思われる。

この調査については東京教育大学 辰野千寿先生、福島大学 菊地章夫先生から懇切なるご指導をいただいた。深く感謝するとともに第二学期の多忙の中を、貴重な時間をさいていただいた学校の校長先生はじめ諸先生、児童、生徒のみなさんに深く感謝する次第である。

この研究を担当し、執筆したのは 島田良吉 である。

参 考 文 献

- 菊地章夫 SD法による児童生徒の学校に対する態度の分析 福島大学学芸学部論集13の3, 1962
松原達哉 学習態度と学習能率 教育心理 vol 9 №2
梅本堯夫 言語学習及び言語行動の分析における連想法の位置 京大教育学部紀要 K 1963
大西憲明 秋山千代子 酒井英美子 学童の家庭学習に及ぼす諸要因の研究 樟蔭家政学 12
相川高雄 教科の好き嫌いと教師の影響 児童心理 №143
黒橋栄一 勉強のきらいになる原因 同上
横浜市教育研究所 学力形成の要因に関する研究 研究紀要25集
辰野千寿 学習心理学 金子書房 昭30

なお、SD法については主として下記の文献によった。

- Osgood C. E. Suci G. J. and Tannenbaum P. H. The Measurement of Meaning 1957
Osgood C. E. The nature and measurement of meaning. Psychol. Bull. 1952(49)
鮑戸弘 SD法の原理と方法 市場調査81号
意味尺度研究会 SD法による日本語の意味構造の研究 市場調査82号
鮑戸弘 SD法とイメージ測定 市場調査 90.91合併号
Sagara M. Yamamoto K. Nishimura H. & Akuto H. A study on the semantic structure of Japanese Language by the semantic differential method. Jap. Psychol. Resear. vol3 №3 1961
吉田正昭 マーケティングのための心理測定 日本能率協会 昭37
鮑戸弘 SD法の再検討 KYOWA AD REVIEW №15 1963